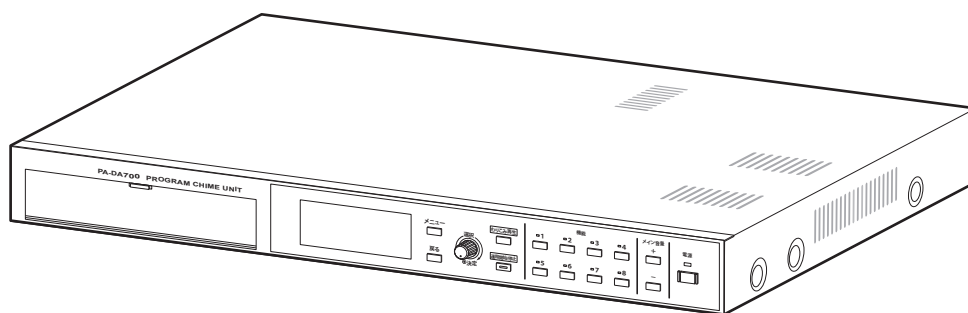


プログラムチャイムユニット

型名 **PA-DA700**

取扱説明書
(操作・設定編)



お買い上げありがとうございます。

ご使用前に「取扱説明書（操作・設定編）」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「取扱説明書（設置編）」の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

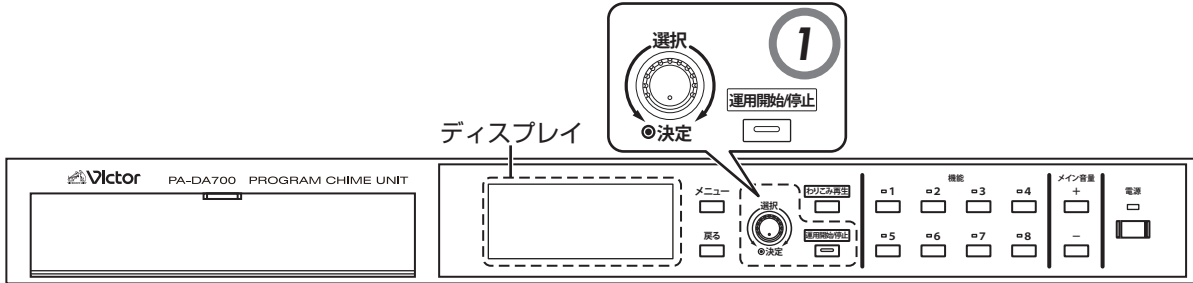
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

操作の手引き

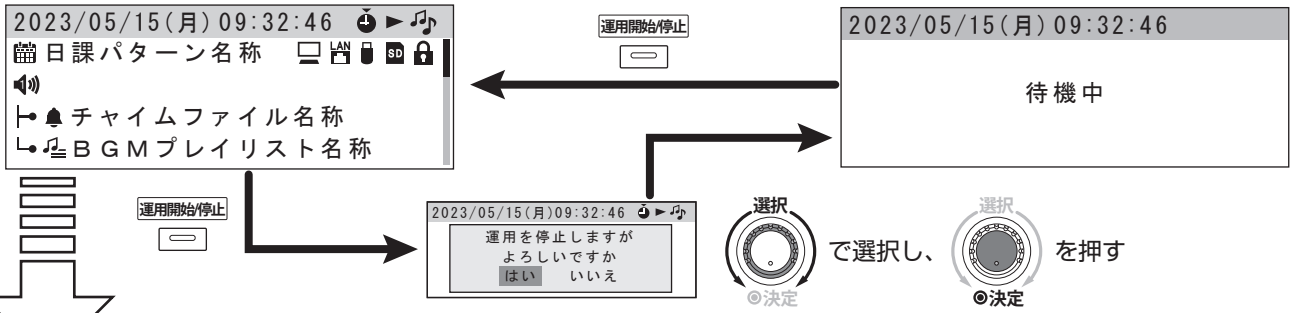
操作の手引き

本機を運用する場合は、本ページを参考に操作をしてください。



1 スケジュールを実行/停止するには

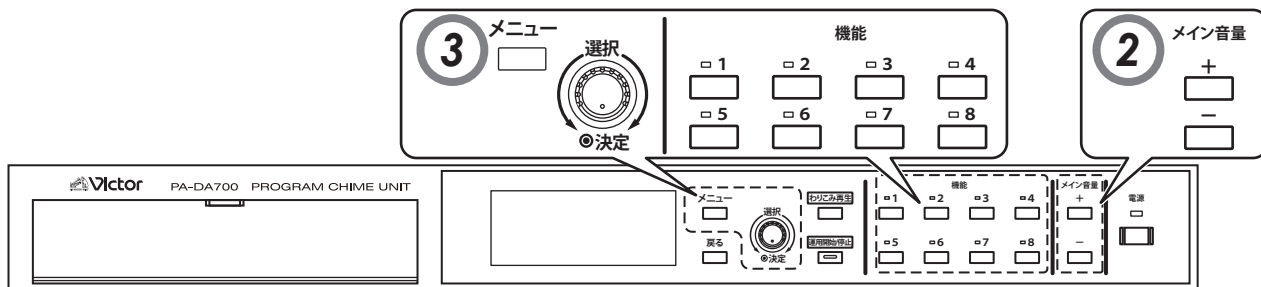
「運用開始/停止」でスケジュールの実行（運用中）と停止（待機中）を切り換えます。



運用中画面の見かた

「選択」で画面の情報をスクロールさせて切り換えることができます。

<p>現在実行中の日課パターン名 どの設定によるパターンを実行しているか、パターン名の左にアイコン表示されます。</p> <p>📅: 週間スケジュール 📅: 年間スケジュール 🔒: 機能ボタン 🔒: 制御入力</p>	<p>時刻補正に成功している则表示されます。</p> <p>現在の日時 2023/05/15(月) 09:32:46</p>	<p>音源再生または制御出力中に表示されます。</p> <p>音源再生中に表示されます。 ・ヘッドホン端子からの音声出力の場合は、🔊が表示されます。</p> <p>ボタンロック中に表示されます。</p>
<p>音声出力1で出力中の内容が表示されます。 ・チャイム/アナウンスのファイル名 ・BGMのファイル名</p>	<p>🔊</p> <p>▶️ チャイムファイル名称 ↳ BGMプレイリスト名称</p>	<p>接続状態が表示されます。 📁: SDカード 📁: USBメモリ 📁: LAN 📁: PC (PA-DA700 設定ソフトウェアと接続)</p>
<p>制御入力端子の動作状態が表示されます。 入力ONで機能動作中: 緑点灯 入力ONで機能待機中: 緑点灯</p>	<p>🔒 制御入力</p> <p>▶️ 本体 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 ▶️ EXT1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 ↳ EXT2</p>	<p>音声出力2で出力中の内容が表示されます。 ・チャイム/アナウンスのファイル名 ・BGMのファイル名</p>
<p>制御出力端子の動作状態が表示されます。 動作中: 緑点灯</p>	<p>🔒 制御出力</p> <p>▶️ 本体 1 2 3 4 5 6 7 8 ▶️ EXT1 1 2 3 4 5 6 7 8 ↳ EXT2</p>	<p>※ 拡張ユニットを接続していない場合、「制御入力」、「制御出力」の「EXT1」、「EXT2」はグレーアウトして表示されます。</p>



2 音量を調節するには

メイン音量
+ / - で音声のボリュームを調節できます。

3 スケジュール以外の日課パターンや音源再生、機器操作を行うには

機能ボタンや制御入力端子に機能を設定しておくことで、運用を停止せずに一時的に日課パターンを変更したり、音源ファイルを再生したりできます。

1. □1 ~ □8 を押す (機能ボタン) / 外部機器から本機に信号を入力する (制御入力)

	機能ボタン	制御入力
機能実行中	ボタン上部の表示灯が点灯します	ディスプレイの端子番号が緑に点灯します
機能待機中	ボタン上部の表示灯が点滅します	ディスプレイの端子番号に緑枠が表示されます

動作を停止させる

1. 実行中の機能ボタンを押す (機能ボタン) / 動作の停止に設定した信号を入力する (制御入力)

機能ボタンに機能を割り当てるには

※ 機能を設定する場合は、 でスケジュールを停止して待機中にしてから設定を行います。

- メニュー を押し、 と で、「プログラム作成」>「機能ボタン」>「ボタン1」～「ボタン8」を選択する
- と で割り当てる機能を設定する

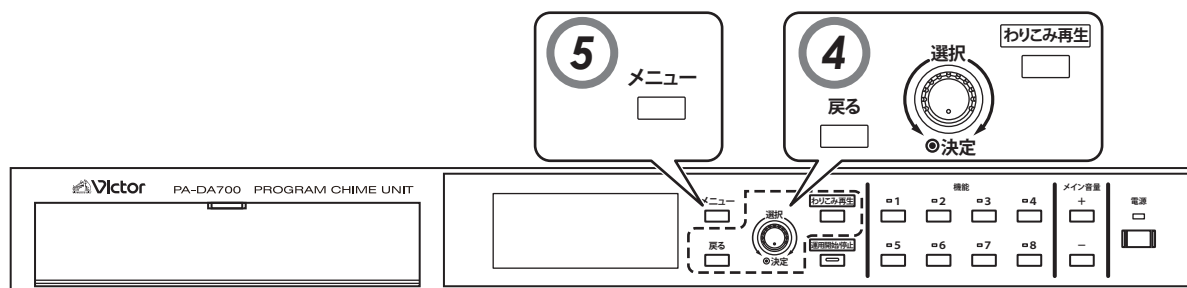
割り当てられる機能については、「機能ボタンを設定する(P.27)」をご覧ください。

制御入力に機能を割り当てるには

※ 機能を設定する場合は、 でスケジュールを停止して待機中にしてから設定を行います。

- メニュー を押し、 と で、「プログラム作成」>「制御入力」>「本体ユニット」～「拡張ユニット2」を選択する
- と で機能を割り当てる制御入力端子の番号を選び、機能を設定する

割り当てられる機能については、「制御入力端子の機能を設定する(P.29)」をご覧ください。



4 スケジュール動作中に音源を選んで再生するには

予め機能ボタンなどに再生する音源を割り当てておかなくても、その場で音源を選んで再生できます。
 ※ 優先放送の再生中は、わりこみ再生は行えません。

わりこみ再生

1. を押す
2. と で「音源」を選び、再生する音源ファイルを選択する
3. と で「設定」を選び、再生音量と出力先を選択する
 選択後は を押してわりこみ再生の画面に戻ります。
4. で「放送開始」を選び、 を押す
 ・繰り返し再生をする場合は「」を選んで「ON」に設定します。
5. で「▶再生」を選び、 を押す
 再生確認の画面が表示されるので、「OK」を選択するとわりこみ再生が開始します。

わりこみ再生を終了する

1. 「■ 停止」を選び、 を押す

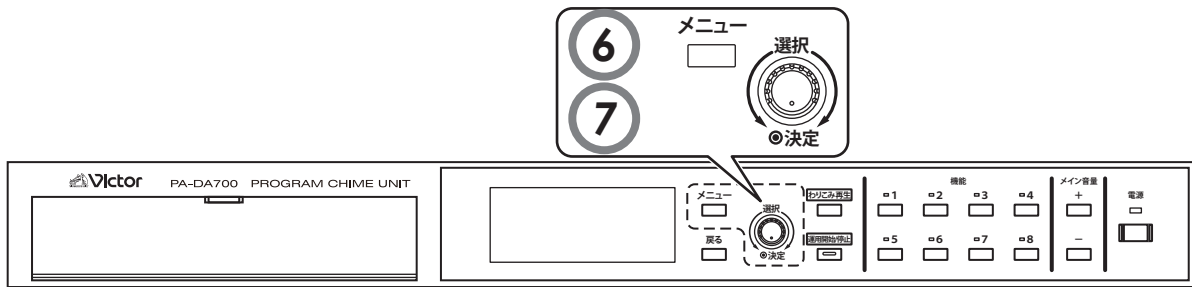
5 ボタンをロックする/ロックを解除するには

誤ってボタンに触れる事での誤操作を防ぐために、ボタンロックをかける事ができます。

1. を長押しする
 ボタンロック画面が表示され、ボタンがロックされます。ボタンロック中は、ディスプレイの右上に が表示されます。


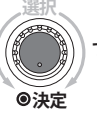



ボタンロックを解除するには

1. を長押しする
 ロック解除画面が表示され、ボタンロックが解除されます。ディスプレイの右上の 表示が消えます。




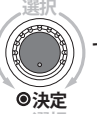


※ **メニュー** で設定を行う場合は、**運用開始/停止** でスケジュールを停止して待機中にしてから行います。

6 時刻を手動であわせるには


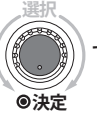


1. **メニュー** を押し、 と  で「システム設定」>「基本設定」>「時刻設定/補正確認」>「時刻の手動設定」を選択する
2.  で「年」をあわせ、 を押し
カーソルが「月」の欄に移動します。
3. 「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」の順に設定する
秒を設定するときに電話の時報などに合わせて  を押し、時刻を合わせます。

7 画面の明るさを変更するには

画面の明るさと、画面が常時点灯するか、操作/再生時のみ点灯するかを設定できます。

1. **メニュー** を押し、 と  で、「システム設定」>「基本設定」>「画面設定」>「明るさ」の順に選択する
2.  で明るさを調節し、 を押し決定する
明るさは100%～30%の範囲で調節できます。

画面の点灯方法を設定するには

1. **メニュー** を押し、 と  で、「システム設定」>「基本設定」>「画面設定」>「点灯方法」の順に選択する
2.  で「常時点灯」または「操作・再生連動」から選択し、 を押し決定する

「常時点灯」にすると、ディスプレイが常時点灯状態になります。

「再生・操作連動」にすると、音源再生時とボタン操作時は点灯し、それ以外の場合は消灯します。

はじめに

もくじ

操作の手引き

操作の手引き	2
--------	---

はじめに

正しくお使いいただくためのご注意	8
各部の名称とはたらき	9
前面	9
背面	10
基本操作	11
設定の流れ	13
本機導入時	13
スケジュール更新時	13
ステップと日課パターンについて	14
2元放送について	14
年間スケジュールについて	15
機能ボタンと制御入力について	15

メニュー画面の構成

メニュー画面の構成	16
-----------	----

音源について

音源を追加する	17
音源を確認する	17
音源ファイルを試聴する	18
プレイリストを編集する	18
プレイリストを作成する	18
プレイリストを試聴する	19
プレイリストを編集する	19
プレイリストをコピーする	19
プレイリストを削除する	19

スケジュールの設定

1日のスケジュール（パターン）を設定する	20
日課パターンを作成する	20
ステップを編集する	22
日課パターンを編集する	22
1週間のスケジュールを設定する	23
1年間のスケジュールを作成する	23
スケジュール設定例	25
1日のスケジュールチャート記入例	25
週間スケジュールチャート記入例	26
年間スケジュールチャート記入例	26

ボタンや端子に機能を割り付ける

機能ボタンを設定する	27
制御入力端子の機能を設定する	29
制御入力の優先順位について	31

運用前の動作確認

スケジュールを動作確認する	33
---------------	----

スケジュールの実行と停止

スケジュールを実行する	34
運用画面の見かた	34
スケジュールを停止する	34

ボタンや端子の機能の実行と停止

機能ボタンや制御入力端子の機能を実行する	35
機能ボタンに割り当てた動作を実行する	35
制御入力端子に割り当てた動作を実行する	35
機能ボタンや制御入力端子の機能を停止する	35
機能ボタンの動作を停止する	35
制御入力端子に割り当てた動作を停止する	35
わりこみ再生ボタンで操作する	36

ボタンのロック／解除

ボタンをロックする／解除する	37
ボタンをロックする	37
ボタンのロックを解除する	37

録音

音声を録音する	38
録音の準備をする	38
録音する	38
録音音源の種別を変更する	39

その他の操作

パソコンを使って設定・制御する	40
リモート操作の設定をする	40
PCと接続する	40
設定を取り出す / 取り込む	41
データを取り出す	41
取り出したデータを取り込む	41
工場出荷時の設定に戻す	42
すべての設定を初期化する	42
バージョンを表示する	42
ソフトウェアをアップデートする	42

こんなときは

本機を再起動する.....	43
時刻を手動で設定する.....	43
ログ管理について.....	44
動作ログを確認する.....	44
ログデータを保存する.....	44
動作ログを削除する.....	44
エラー表示について.....	45
まず確認してください.....	46
よくあるご質問と解決方法.....	47

付録

付録.....	48
チャイム音・楽曲一覧.....	48
用語解説.....	50
保証とアフターサービス.....	51
保証期間について.....	51
消耗部品について.....	51
法的情報.....	51
スケジュールチャート集.....	52
仕様.....	55
索引.....	57

取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は、次の構成になっています。

名称	内容	形式
取扱説明書 (設置編)	本機の設置・接続と初期設定について説明しています。	冊子
取扱説明書 (操作・設定編)	本書 本機の通常の操作と設定について説明しています。	冊子
取扱説明書 (設定ソフト)	パソコンを使用しての本機の設定方法と、操作方法について説明しています。	PDF

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
 メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
 P. : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。

正しくお使いいただくための ご注意

- USB 端子に USB メモリー以外の機器を接続すると、故障の原因となることがあります。
- 各機器を接続する場合は、指定しているコード・ケーブルで接続してください。
指定以外のコード・ケーブルを使用したりコード・ケーブルを延長したりすると、誤動作の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載されていることに従って設置する
取扱説明書に従わない不完全な取り付けにより発生した事故や損害については、当社は責任を負いかねますので、設置には十分な注意をお願いします。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切ってから電源プラグを抜いて、次のようにお手入れしてください。
 - ・ 汚れは乾いた柔らかい布などでふき取ってください。
 - ・ ひどい汚れは、水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れをふき、乾いた布で水分をふき取ってください。ベンジンやシンナー、塩素系洗剤は使用しないでください。キャビネットの損傷や故障の原因になります。
- 本機は、時刻サーバー (SNTP サーバーや NTP サーバーなど) を使用して自動的に時刻合わせを行なう機能を搭載しています。より正確な時刻で運用するために、時刻サーバーのご使用をおすすめします。
- SD カードへ録音中に電源が切れると、それまでの録音音声再生できなくなります。

電波障害について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

免責事項について

- ・ 万一、PA-DA700 およびコンピュータソフトウェアなどの不具合により、正常に動作しなかった場合の補償についてはご容赦ください。

SD カードについて

- ・ SD カードは消耗品です。
大切なデータは別のメディアにバックアップされることをおすすめします。
 - ・ SD カードによっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。
また、SD カードに使用されるメモリの種類によってデータの保持期間が異なります。
動作確認済みの SD カードを使用することをお勧めします。
動作確認済みの SD カードについては、販売店にお問い合わせください。
 - ・ 本機には、SD カードのフォーマット機能がありません。
フォーマットしていない SD カードは、SD フォーマッター*でフォーマットしてから使用してください。フォーマットすると、記録されていた内容は消去されます。またフォーマットしていない SD カードや指定方法以外でフォーマットした SD カードを使用すると、正常に動作しないことや性能低下することがあります。
- ※ SD フォーマッター：SD/SDHC 規格を使用したメモリーカードの性能が最適となるようにフォーマットするソフトウェアです。フォーマッターの入手は、SD アソシエーションのホームページまたはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

著作権について

- ・ 本製品の設定ソフトウェアを使ってお客様ご自身で楽曲データを複製し、複製したデータを本体に取り込んだり取り出したりできますが、当該複製行為および複製したデータを利用することは、楽曲（データ）にかかる著作権者等の権利を侵害する場合がありますので、十分ご注意ください。
当社は、これらの行為による一切の損害、責任を負いかねます。
お客様が、新規チャイム登録して新たな楽曲を追加登録しご使用される場合には、その楽曲の著作権者等から利用許諾を得る必要があります。

情報セキュリティに関するご注意

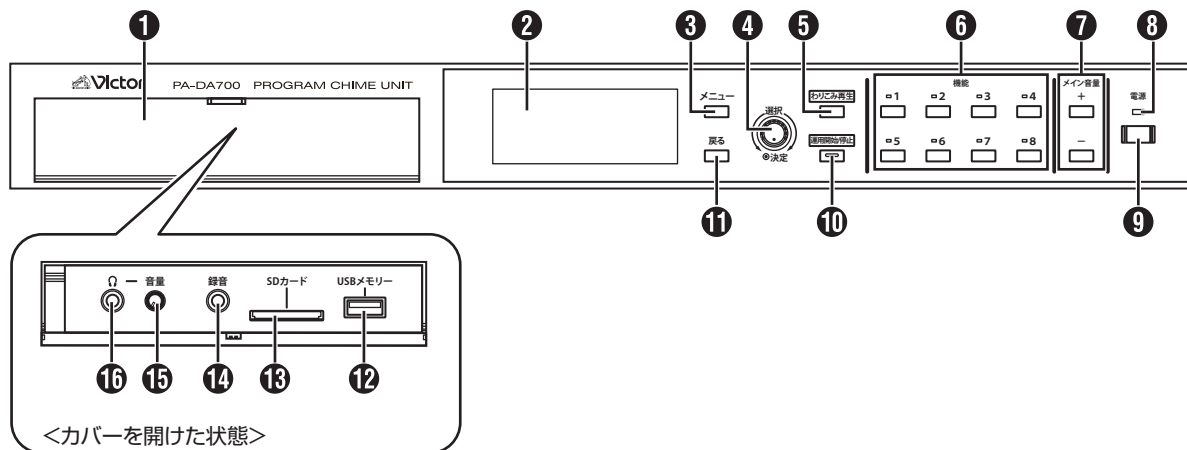
本機は、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、販売店または弊社営業窓口にご相談のうえ、必ずルーター等を経由して接続してください。

パスワードについて

容易に推測されないパスワードを設定してください。また、パスワードは定期的に変更してください。

各部の名称とはたらき

前面



① カバー

SD カードや USB メモリーを接続するときやヘッドホンを使用するとき、または録音を行うときに、カバーを開けて使用します。

② ディスプレイ

待機中画面、運用中画面、設定画面などの各種画面が表示されます。

③ 【メニュー】 ボタン

設定画面のメインメニューを表示するときに押します。(P.11)

④ 【選択】 ダイヤル / 【決定】 ボタン

設定をするときに使用します。(P.12)

ダイヤルを回すと、ディスプレイ上のカーソルの項目を上下、または左右に移動します。カーソルのある項目を決定、または動作を実行するときはダイヤルボタンを押します。

⑤ 【わりこみ再生】 ボタン

スケジュールや【機能】ボタンによる運用中に割り込んで、放送を行うときに押します。(P.36)

⑥ 【機能】 1～8 ボタン

特別な動作（たとえば、祝祭日用のスケジュール）を割り当てておき、運用中に押すと、特別な動作に切り換えることができます。(P.35)

機能ボタンの動作中は、ボタンの上の表示灯が点灯します。

⑦ 【メイン音量】 + / - ボタン

音声出力端子 (⑫) から出力する音量を調節します。

⑧ 電源表示灯

電源が入のときに、緑色に点灯します。

⑨ 【電源】 ボタン

本機の電源を入/切するときに押します。(P.11)

⑩ 【運用開始/停止】 ボタン

スケジュール運用中と待機中を切り換えます。(P.34)

⑪ 【戻る】 ボタン

設定中に一つ前の項目に戻るときに押します。(P.12)

⑫ USB メモリー端子

USB メモリーを接続します。設定ソフトウェアで作成したスケジュールなどの設定や追加音源のデータを USB メモリーから本機に取り込めます。また、USB メモリーに本機の設定や追加音源を取り出し、他の PA-DA700 に取り込めます。(P.41)

⑬ SD カードスロット

SD カードを出し入れします。

SD カードには追加音源ファイルを保存し、本機で参照して再生できます。(P.41)

録音をする場合、録音音源ファイルが SD カードに保存されます。(P.38)

また、SD カードに本機の設定や追加音源を取り出し、他の PA-DA700 に取り込めます。(P.41)

⑭ 録音入力端子

音源を録音するときに、プラグ径がφ 3.5mmのオーディオケーブルなどを使用して他の機器などを接続します。(P.38)

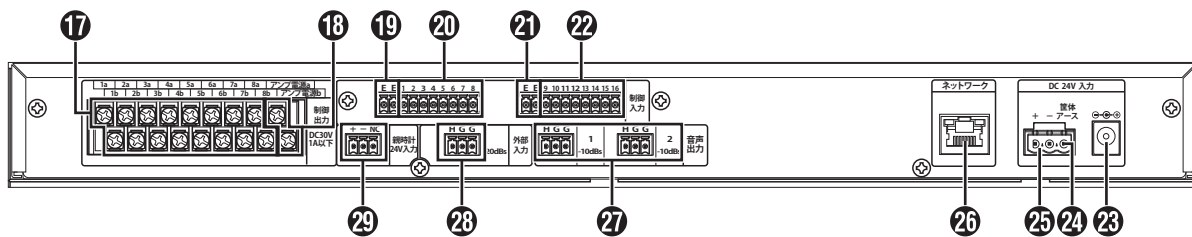
⑮ ヘッドホンボリューム

ヘッドホン端子 (⑯) から出力する音量を調節します。右に回すと音が大きく、左に回すと音が小さくなります。

⑯ ヘッドホン端子

プラグ径がφ 3.5mmのヘッドホン接続し、チャイムやBGMの再生状態を確認します。(P.18)

背面



17 制御出力端子 (1 ~ 8)

被制御機器 (アンプなど) を接続します。

18 アンプ電源制御出力端子

アンプの起動入力端子と接続します。音源再生時に連動して動作します。

19 制御入力 E 端子

制御入力 1 ~ 8 端子 (20) に接続する機器のコモンまたは E 端子を接続します。

20 制御入力端子 (1 ~ 8)

スイッチやセンサーなどの本機を制御する機器を接続します。この端子に接続した機器から本機を特別な動作 (アナウンス再生やスケジュール停止など) に切り換えることができます。(P.29)

21 制御入力 E 端子

制御入力 9 ~ 16 端子 (22) に接続する機器のコモンまたは E 端子を接続します。

22 制御入力端子 (9 ~ 16)

スイッチやセンサーなどの本機を制御する機器を接続します。この端子に接続した機器から本機を特別な動作 (アナウンス再生やスケジュール停止など) に切り換えることができます。(P.29)

23 DC ジャック

付属の AC アダプタを接続し、DC24V の電源を供給します。

24 筐体アース端子

本機に接続した外部機器のアース端子、またはラックのアース端子に接続してください。安全アースではありません。

25 DC24V 入力端子

AC アダプターを使用せずに DC24V 電源を供給したいときや、停電時でも本機から再生したいときに接続します。

26 ネットワーク端子

LAN ケーブルを使って本機をネットワークに接続します。ネットワークに接続すると複数の PA-DA700 を拡張モードで接続したり、パソコンから本機の設定や操作が行えます。

メモ :

- CAT5e 以上のケーブルを使用してください。

27 音声出力端子 (1, 2)

本機の再生音声や外部入力端子に接続した外部機器の音声を出力します。

メモ :

- 2元放送を使用する場合は、「放送 1」の音声が音声出力端子 1、「放送 2」の音声が音声出力端子 2 から出力されます。

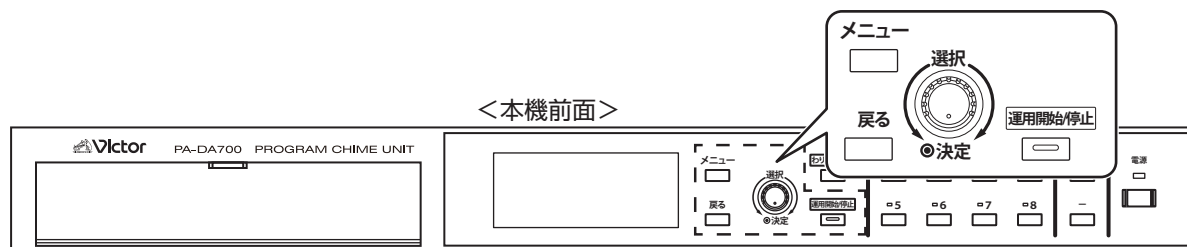
28 外部入力端子

外部音声機器 (CD プレーヤーなど) を接続します。

29 親時計 24V 入力端子

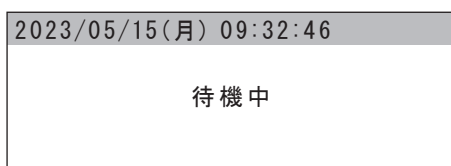
30 秒式の親時計と接続します。親時計からの 24V 信号を受信し、本機内部時計の時刻補正を行います。

基本操作

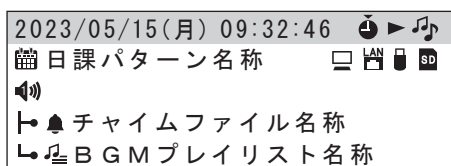


■ 電源を入れる

【電源】を押します。
待機中画面または運用中画面が表示されます。
<待機中>



<運用中>



メモ : _____

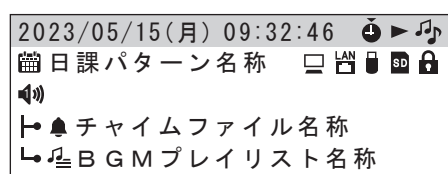
- 「オートスタート」の設定により、電源を入れたときの状態が変わります。「オートスタート」については、『取扱説明書 設置編』をご覧ください。
- 運用開始時に、挿入しているSDカードに現在の設定よりも新しい設定データが保存されていた場合、取り込み確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと、SDカードの設定データを取り込んでから運用中になります。

■ 電源を切る

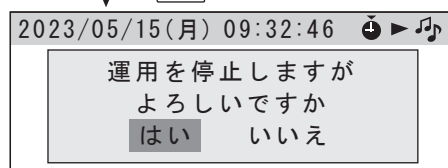
【電源】を押します。
確認画面が表示されるので、「はい」を選んで【決定】を押すと、電源表示灯とディスプレイの表示が消えて本機の動作が停止します。

■ 設定メニューを開く

設定メニューは、本機の運用中は使用できません。
【運用開始/停止】を押して運用を停止してから、【メニュー】で設定メニューを開きます。

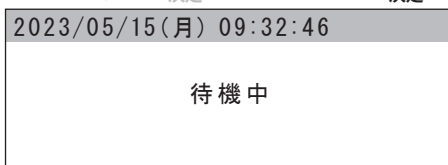


運用開始/停止

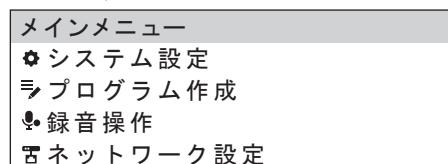


選択

決定



メニュー

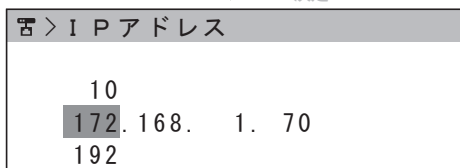
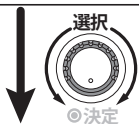
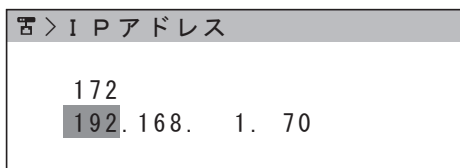


はじめに

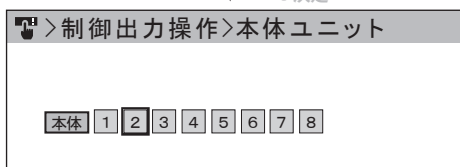
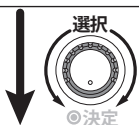
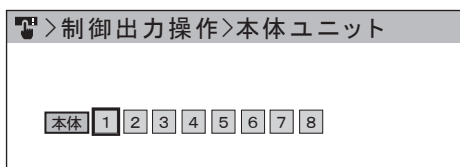
■ 項目を選択する

本機では、ディスプレイ右側にある【選択】ダイヤルと【決定】ボタンを使って、画面に表示される項目を選択、決定します。

選択項目が縦に並んでいる場合は、【選択】ダイヤルを右に回すと項目が上方向に、左に回すと項目が下方向に移動します。



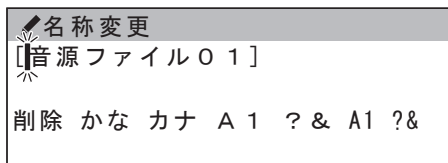
選択項目が横に並んでいる場合は、【選択】ダイヤルを回すとカーソルが移動して選択している項目が切り替わります。



選択が終了したら、【決定】を押して決定します。
【戻る】を押すと、1つ前の操作に戻ります。

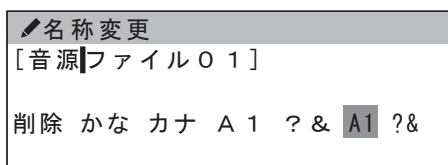
■ 文字入力のかた

パスワードの設定や名称変更などで文字を入力する場合は、以下の操作で行います。



1. 文字を入力したい位置にカーソルを移動し、【決定】を押す

カーソルが点滅から点灯に切り換わり、文字の種別が選択できるようになります。



2. 入力したい文字の種別を選択し、【決定】を押す

入力できる文字の種別は、以下のとおりです。

- 全角ひらがな、全角カタカナ、全角英数、全角記号、半角英数、半角記号
- 本体操作では漢字の入力はできません。漢字を入力したい場合は PA-DA700 設定ソフトウェアを使用して、PC で名称を設定してください。

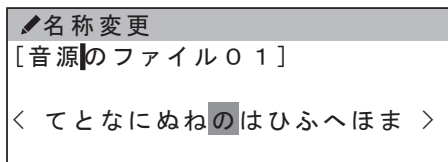
メモ :

- 本機では半角カナ文字は使用できません。

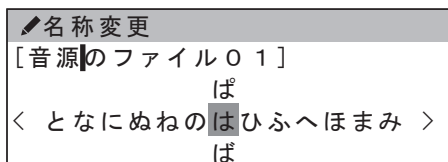
• 「削除」を選んで【決定】を押すと、カーソル位置のすぐ右の1文字が削除されます。カーソル位置が右端の場合は、カーソル左の1文字が削除されます。

3. 入力したい文字を選択し、【決定】を押す

カーソル位置に文字が入力されます。



• かな文字で濁音や半濁音、小文字を入力したい場合は、元の文字を選択して【決定】を押してから、さらにダイヤルで選択し、【決定】を押します。



設定の流れ

本機の設置、初期設定後の運用での設定の流れは以下のようになります。

初期設定までの流れについて詳しくは、『取扱説明書(設置編)』をご覧ください。

メモ : _____

- 以下の設定は、「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用して PC で設定を行うことができます。(P.40)
- 詳細な設定を行う場合は、「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用しての設定をおすすめします。
- 詳しくは『PA-DA700 設定ソフトウェア 取扱説明書』をご覧ください。

本機導入時

スケジュール更新時

スケジュールを停止する

設定を行うためには、本機を待機状態にする必要があります。

- スケジュールを停止する (P.34)

音源を確認する

放送に使用する音源ファイルを確認し、準備します。

- 音源ファイルを追加する (P.17)
- プレイリストを作成する (P.18)
- プレイリストを編集する (P.19)

日課パターンを作成する

ステップ「何時から何時まで、何を(チャイム、BGM など)放送するか」を組み合わせ、1日のスケジュール(パターン)を作成します。

- 日課パターンを作成する (P.20)
- ステップを編集する (P.22)

日課パターンを更新する

日課パターンを編集したり、必要に応じて新規の日課パターンを作成します。

- 日課パターンを編集する (P.22)
- ステップを編集する (P.22)

週間スケジュールを設定する

設定したパターンを月曜～日曜に当てはめて、週間スケジュールを作成します。

- 1週間のスケジュールを設定する (P.23)

週間スケジュールを更新する

必要に応じて新規の日課パターンを週間スケジュールに当てはめて更新します。

- 1週間のスケジュールを設定する (P.23)

年間スケジュールを設定する

週間スケジュールで設定したパターン以外で動作させる日をカレンダーで個別に指定します

- 1年間のスケジュールを作成する (P.23)

年間スケジュールを更新する

指定した日に週間スケジュール以外の日課パターンを行うように設定します。

- イベントを修正 / 削除する (P.24)

機能ボタン / 制御入力を設定する

運用中にスケジュール外の動作を行わせる場合の設定をします。

- 機能ボタンを設定する (P.27)
- 制御入力端子の機能を設定する (P.29)

リハーサルを行う

運用前に、スケジュールや機能ボタンの動作確認を行います。

- スケジュールを動作確認する (P.33)
- 機能ボタンや制御入力端子の機能を実行する / 機能ボタンや制御入力端子の機能を停止する (P.35)

スケジュールを実行する

運用を開始します。

- スケジュールを実行する (P.34)

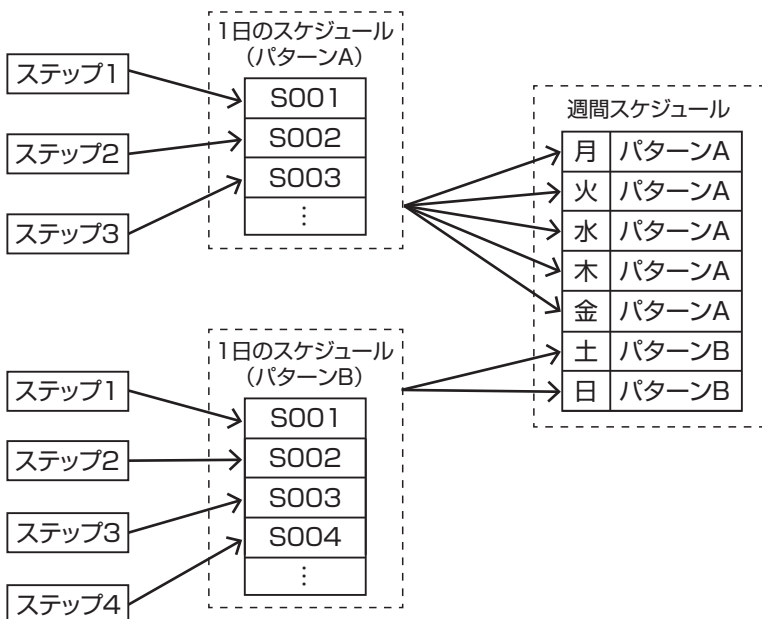
ステップと日課パターンについて

■ 日課パターンとは

1日のスケジュールを指します。パターンをいくつか作成して、月曜日から日曜日に割り当てれば、1週間のスケジュールが完成します。パターンは最大99件作成できます。

■ ステップとは

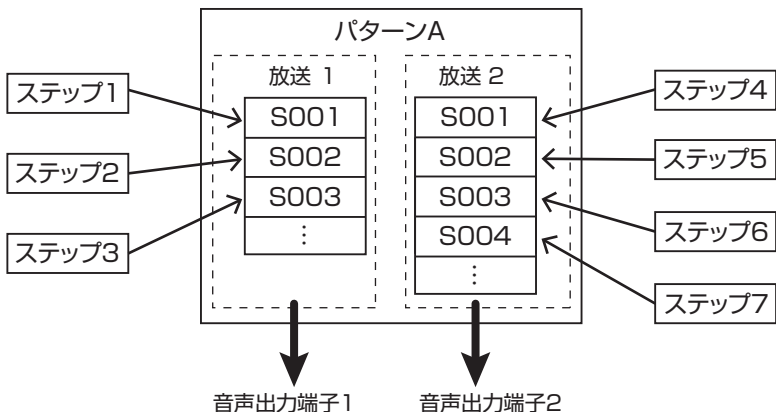
パターンを構成する項目です。1日のスケジュールの中で、チャイムやBGMを鳴らしたり、制御機器を動作させたりしますが、これらの1つ1つの項目をステップと呼びます。ステップは1つのパターン内で最大999ステップまで作成できます。



週間スケジュールは、各曜日に割り当てた日課パターンを毎週繰り返して実行します。週間スケジュールは、1つだけ設定できます。

2元放送について

本機は、1つの日課パターンで2つの放送のスケジュールを別々に登録し、同時に2つの放送を行う2元放送が可能です。2元放送を行う場合、日課パターンで「2元放送」を選択し、「放送1」と「放送2」に別々にステップを設定します。スケジュールを実行すると、「放送1」のステップは音声出力端子1から、「放送2」のステップは音声出力端子2から別々に出力されます。



年間スケジュールについて

特別なスケジュールがある日は、年間スケジュールを使います。何月何日という月日指定で、年間スケジュールを組んでおくと、該当日が来たら週間スケジュールで設定された日課パターンよりも優先的に実行されます。スケジュールを実行し終わったら、週間スケジュールに戻ります。

週間スケジュール

月	パターンA
火	パターンA
水	パターンA
木	パターンA
金	パターンA
土	パターンB
日	パターンB

年間スケジュール

4月7日	入学式
7月20日	終業式
9月1日	始業式

金曜が4月7日の場合、パターンAを実行せずに入学式のパターンを実行します。翌日、週間スケジュールのパターンに戻ります。

年間スケジュールは、現在年と翌年の2年分が設定できます。

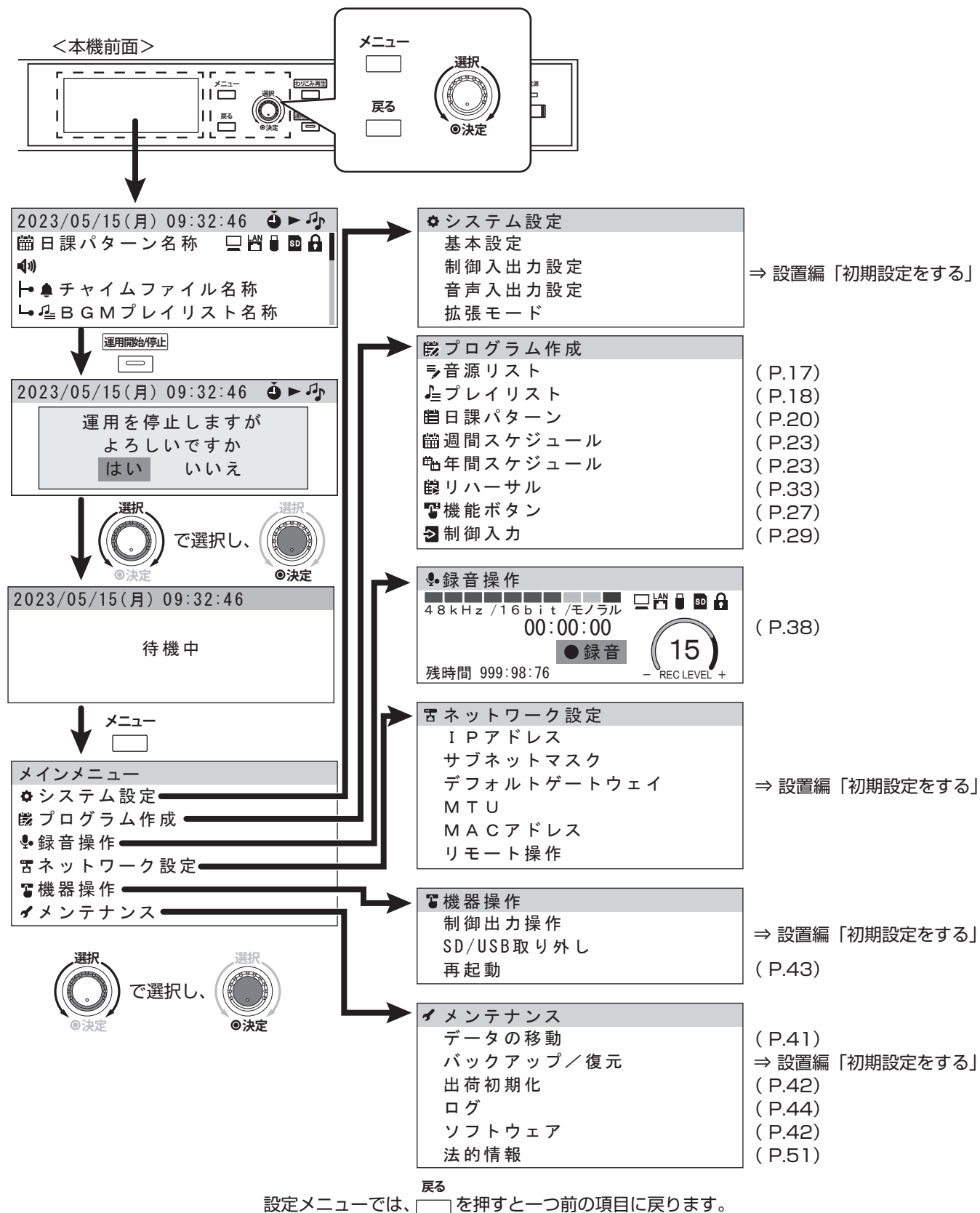
機能ボタンと制御入力について

本体前面の【機能】ボタンや制御入力端子に機能を設定しておくことで、運用を停止せずに一時的に日課パターンを停止したり、設定した別の日課パターンを実行できます。急にスケジュールを実行しない日になったときに、「スケジュール停止」でスケジュールを止められるように機能を割り当てておく便利です。

また、【機能】ボタンと制御入力端子には音源再生の機能を設定することもできます。例えば、制御入力からの信号によって、あらかじめ音源ファイルで設定したアナウンスを放送する、といった使い方ができます。

メニュー画面の構成

メニュー画面の構成



音源を追加する

本機には、あらかじめ1番から54番までのチャイムと1番から19番までのアナウンスがプリセット音源ファイルとして登録されています。(P.48)

追加で新しくお客様オリジナルの音源ファイルを作成し、ユーザー追加音源ファイルとして登録することができます。

BGMファイルについては、プリセット音源には入っていないので、新規に作成して登録します。

音源ファイルを新しく本機に登録するには、ホームページからダウンロードできる「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用します。

操作方法について詳しくは、『PA-DA700 設定ソフトウェア取扱説明書』をご覧ください。

また、ユーザー追加音源は本体に登録する以外に、SDカードに登録可能です。

■ 音源の種類について

本機で使用できる音源は、大きく分けて「チャイム」、「アナウンス」、「BGM」があります。

チャイムとアナウンスは、BGMと同時に再生が可能です。チャイム/アナウンスとBGMの出力が重なった場合は、ミキシングレベルの設定に従ってBGMの音量を下げて出力します。

■ プリセット音源とユーザー追加音源について

チャイムとアナウンスは、73種類の音源ファイルが本機の内蔵メモリにあらかじめ登録されています。

この他に、本機の録音機能で録音した音源や、「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用してPC上で取り込んだ音源をユーザー追加音源として使用できます。

また、ユーザー追加音源はSDカードやUSBメモリーに取り出し、ほかのPA-DA700に追加音源ファイルとして取り込むこともできます。(P.41)

ご注意：

- 本体に音源ファイルを登録する場合、空き容量に制限があります。内蔵メモリの空き容量は約500MBです。空き容量が足りない場合は、追加音源ファイルを登録したSDカードを本機に挿入して使用してください。

音源を確認する

本機で再生できる音源ファイルは、「音源リスト」から確認、試聴ができます。

1. 【メニュー】を押す
2. 「プログラム作成」を選択し、【決定】を押す
3. 「音源リスト」を選択し、【決定】を押す
4. 音源ファイルを選ぶ

音源ファイルの選択方法については、以下の『音源ファイルを選択する』をご覧ください。

■ 音源ファイルを選択する

1. 音源の種類を選んで、一覧を表示する。

音源リスト
チャイム
アナウンス
BGM

- 「チャイム」「アナウンス」「BGM」：
「チャイム」「アナウンス」「BGM」を選択した場合、「プリセット音源」と「ユーザー追加音源」から選択します。「ユーザー追加音源」の場合は、更に「内蔵メモリ」と「SDカード」から選択します。
- 「録音音源」（「音源リスト」での操作の場合）：
SDカードに保存されている録音音源一覧が表示されます。
- 「プレイリスト」（「音源リスト」以外での操作の場合）：
「プレイリスト」を選択した場合、「チャイム/アナウンス」「BGM」からプレイリストの種類を選択します。

2. 一覧から音源を選択し、【決定】を押す
3. 行いたい操作を選択し、【決定】を押す

プリセット音源
001 ウェストミンスターの鐘
試聴

- 「決定」（「音源リスト」以外での操作の場合）：
再生音源として音源ファイルが選択され、元の手順に戻ります。
- 「試聴」：
選択したファイルの視聴画面が表示されます。
- 「名称変更」（ユーザー追加音源、録音音源の場合）：
音源ファイル名を変更できます。文字入力の方法については「文字入力のしかた」をご覧ください。(P.12)
- 「消去」（ユーザー追加音源、録音音源の場合）：
消去の確認画面が表示されます。「はい」を選んで【決定】を押すと、音源ファイルが消去されます。
- 「種別変更」（録音音源の場合）：
音源ファイルを「チャイム」「アナウンス」「BGM」のいずれかに種別を変更し、登録します。

音源ファイルを試聴する

音源ファイル選択時に「試聴」を選んで【決定】を押すと、試聴画面が表示されます。



- 「▶ 試聴」を選ぶと、音源ファイルが再生され、ヘッドホン端子から音が出ます。

ご注意：

- 試聴では、音声は音声出力端子からは出力されず、ヘッドホン端子からのみ出力されます。
- ヘッドホンボリュームでヘッドホンからの音量を調整できます。
- 「■ 停止」を選ぶと、再生が停止します。
- 【戻る】を押すと、音源選択画面に戻ります。

プレイリストを編集する

複数の音源ファイルを組み合わせ登録し、プレイリストを作成することができます。

■ プレイリストについて

プレイリストは、複数の音源ファイルを組合せて登録したリスト（一覧）です。1回の再生動作で、登録した音源ファイルを連続して再生できます。また、音源の順番をランダムに再生するシャッフル再生も可能です。

プレイリストには、チャイムとアナウンスの音源ファイルで構成した「チャイム / アナウンス プレイリスト」とBGMの音源ファイルで構成した「BGM プレイリスト」の2種類があります。

ご注意：

- プレイリストの編集は、PA-DA700 設定ソフトウェアを使用してPCでも行えます。詳細な編集を行う場合は、PA-DA700 設定ソフトウェアでの設定をおすすめします。
- プレイリストに追加した音源は、音源単体と比較し音量が小さくなりますので、音量を確認し調整願います。

プレイリストを作成する

1. 【メニュー】を押す
2. 「プログラム作成」を選択し、【決定】を押す
3. 「プレイリスト」を選択し、【決定】を押す
4. 「チャイム / アナウンス」または「BGM」を選択し、【決定】を押す
 - 「チャイム / アナウンス」：
チャイム / アナウンスの音源として利用できます。BGMと同時に再生できます。
 - 「BGM」：
BGMの音源として利用できます。チャイム / アナウンスと同時に再生できます。

プレイリストの一覧が表示されます。作成されていないプレイリスト欄には「登録なし」と表示されます。

🎵>🔊 チャイム / アナウンス	
ステップ数000	
P001	(登録なし)
P002	(登録なし)
P003	(登録なし)

5. 「登録なし」を選択し、【決定】を押す
6. 「リスト作成」を選択し、【決定】を押す

🎵>🔊 チャイム / アナウンス	
P001	(登録なし)
リスト作成	
名称変更	
全体音量	

7. 「+ 追加」を選択し、【決定】を押す



8. 「編集」を選択し、【決定】を押す

9. 「音源選択」で音源を選び、ファイル音量とブランク時間を設定する（初期値：音量 8/ ブランク時間 0）

音源選択の手順は、『音源ファイルを選択する』（P.17）をご覧ください。

10. 【戻る】を繰り返し押して、手順7の画面まで戻る。

11. 手順7～10を繰り返して、プレイリストを作成する

12. 音源ファイルの登録が完了したら、【戻る】を押す

設定を保存する確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと設定が保存されます。

プレイリストを試聴する

作成したプレイリストは、音源ファイルの選択時に「試聴」を選んで試聴できます。

また、『プレイリストを作成する』（P.18）の手順5で、作成済みのプレイリストを選び、そこで「試聴」を選んで試聴することもできます。



- 「▶▶▶ 試聴」を選ぶと、音源ファイルが再生されます。
- 「◀◀◀ 戻る」を選ぶと、プレイリストで1つ前の音源を再生します。
- 「▶▶▶▶ 次へ」を選ぶと、プレイリストで1つ後の音源を再生します。
- ヘッドホンボリュームでヘッドホンからの音量を、【メイン音量】で音声出力端子からの音量を調整できます。
- 「■ 停止」を選ぶと、再生が停止します。
- 【戻る】を押すと、音源選択画面に戻ります。

プレイリストを編集する

■ プレイリストに音源を追加する

1. 「プレイリストを作成する」の手順5で、編集したいプレイリストを選ぶ
2. 「リスト作成」を選択し、【決定】を押す
3. 音源を挿入したいステップを選択し、【決定】を押す
4. 「挿入」を選択し、【決定】を押す
選択しているステップの前に「登録なし」（空のステップ）が挿入されます
5. 「登録なし」を選び、「プレイリストを作成する」の手順8以降に従って音源を登録する

■ プレイリストの音源を変更する

1. 「プレイリストを作成する」の手順5で、編集したいプレイリストを選ぶ
2. 「リスト作成」を選択し、【決定】を押す
3. 音源を変更したいステップを選択し、【決定】を押す
4. 「編集」を選び、音源とファイル音量、ブランク時間を設定する

■ プレイリストの音源を削除する

1. 「プレイリストを作成する」（P.18）の手順5で、編集したいプレイリストを選ぶ
2. 「リスト作成」を選択し、【決定】を押す
3. 削除したいステップを選択し、【決定】を押す
4. 「削除」を選択し、【決定】を押す
確認画面が表示されるので、「はい」を選んで【決定】を押すとプレイリストから音源が削除されます。

■ プレイリストの名称を変更する

1. 「プレイリストを作成する」（P.18）の手順5で、編集したいプレイリストを選ぶ
2. 「名称変更」を選択し、【決定】を押す
3. 名前を入力する
文字入力の方法については『文字入力のしかた』をご覧ください。（P.12）

■ プレイリストの音量を変更する

プレイリスト全体の音量を設定できます。

1. 「プレイリストを作成する」（P.18）の手順5で、編集したいプレイリストを選ぶ
2. 「全体音量」を選択し、【決定】を押す
3. 音量を設定する（初期値：8）

プレイリストをコピーする

1. 「プレイリストを作成する」（P.18）の手順5で、コピーしたいプレイリストを選ぶ
2. 「コピー」を選択し、【決定】を押す
確認画面が表示されるので、「はい」を選んで【決定】を押すとプレイリストがコピーされ、新しく登録されます。

プレイリストを削除する

1. 「プレイリストを作成する」（P.18）の手順5で、削除したいプレイリストを選ぶ
2. 「消去」を選択し、【決定】を押す
確認画面が表示されるので、「はい」を選んで【決定】を押すとプレイリストが削除されます。

スケジュールの設定

1日のスケジュール（パターン）を設定する

ステップを作成し、登録することでパターン作成を行います。パターンは最大 99 件作成できます。1つのパターンには、最大 999 ステップを設定できます。

メモ： _____

- 「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用しても、1日のスケジュールを設定できます。詳細な設定を行う場合は、「PA-DA700 設定ソフトウェア」での設定をおすすめします。

日課パターンを作成する

1. 【メニュー】を押す
2. 「プログラム作成」を選択し、【決定】を押す
3. 「日課パターン」を選択し、【決定】を押す

日課パターンのリストが表示されます。

日課パターン	
	ステップ数000
001	(登録なし)
002	(登録なし)
003	(登録なし)

4. 編集する日課パターンを選択し、【決定】を押す
新規の日課パターンを作成するときは、「登録なし」を選択してください。
5. 「作成・編集」を選択し、【決定】を押す

日課パターン	
001	(登録なし)
作成・編集	
名称変更	
コピー	

6. 「元数設定」を選択し、【決定】を押す
7. 「1元放送」または「2元放送」を選択し、【決定】を押す
(初期値：1元放送)

ご注意： _____

- 元数設定を変更すると、すでに設定しているステップの設定は削除されます。

8. 「放送 1」または「放送 2」を選択し、【決定】を押す
• 手順 7 で「1元放送」を選んでいる場合は、この手順は不要です。
9. 「+ 追加」を選択し、【決定】を押す

放送 1	
001	パターン001
+ 追加	

新しいステップが作成されます。

10. 「作成・編集」を選択し、【決定】を押す

ステップ編集	
(名称なし)	
種別選択	-----
音源選択	
開始時刻	00:00:00

11. ステップの内容を設定する

ステップで実行する機能を以下から選択し、設定します。

- 「音源再生」：
チャイム / アナウンス / BGM を再生します。
⇒ 『「音源再生」を選択した場合』(P.21)
- 「制御出力」：
制御出力端子に接続された機器を起動します。
⇒ 『「制御出力」を選択した場合』(P.21)

12. 手順 9 ~ 11 をくり返してステップを登録する

放送 1	
001	パターン001
07:10	会館チャイム
!07:10	館内案内チャイム01
07:30	館内BGM

ご注意： _____

- 同じ時間帯に放送の重複がある場合、警告が表示されます。重複しているステップは、左端に警告マーク (!) が付き、赤字で表示されます。

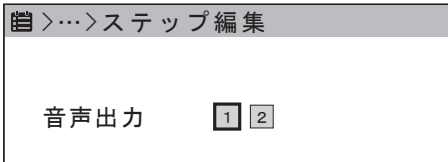
- 2元放送で「放送 1」「放送 2」の設定を行う場合は、【戻る】を押して手順 8 に戻り、放送を選び直します。

13. 設定が完了したら、【戻る】を押す

日課パターンを作成、または変更している場合は、保存の確認画面が表示されます。確認画面で「はい」を選び、【決定】を押すと作成された日課パターンが保存されます。

■ 「音源再生」を選択した場合

- ① 「種別選択」で「音源再生」を選択する
- ② 「音源選択」で、音源を選択する
音源選択の手順については、『音源ファイルを選択する』をご覧ください。(P.17)
- ③ 「開始時刻」で、再生を開始する時間を設定する
- ④ 「終了時刻」で、再生を終了する時間を設定するか、「再生回数」で、くり返し再生する回数を設定する
(初期値：再生回数 1)
 - ・ 「終了時刻」を設定した場合は、終了時刻になるまで選択された音源をくり返し再生します。
 - ・ 「再生回数」を設定した場合は、指定した回数だけ選択された音源をくり返し再生します。
- ⑤ 「インターバル」で、くり返し再生する際のインターバル時間を設定する (初期値：0分0秒)
- ⑥ 「シャッフル」で、プレイリスト内の音源をシャッフル再生するかを選択する
 - ・ シャッフルは、「音源選択」で「プレイリスト」を選択している場合のみ選択できます。
- ⑦ 「音量」で、再生する音量を設定する (初期値：8)
- ⑧ 「音声出力」で、音声を出力する端子の番号を選ぶ



ダイヤルで「1」または「2」を選び、【決定】を押します。
【決定】を押すごとにオン/オフが切り換わります。

- メモ： _____
- ・ 「2元放送」を選択している場合、「放送1」では「1」のみ、「放送2」では「2」のみ選択できます。

- ⑨ 「本体」「EXT1」「EXT2」から、音源再生時に動作させたい外部機器が接続されているユニットを選ぶ
 - ・ 拡張ユニット1の場合は「EXT1」を、拡張ユニット2の場合は「EXT2」を選択します。
- ユニットを選択した後、【選択】ダイヤルで「1」～「8」を選び、【決定】を押します。



【決定】を押すごとに制御出力端子のオン/オフが切り換わります。

- メモ： _____
- ・ 「2元放送」を選択している場合、「放送1」では「1」～「4」が、「放送2」では「5」～「8」が選択できます。

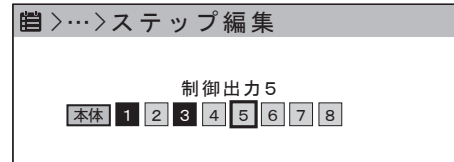
- ⑩ 設定が完了したら、【戻る】を押してステップ一覧画面に戻る
⇒ 『日課パターンを作成する』の手順9に戻ります。(P.20)

- メモ： _____
- ・ 設定に不備があった場合、確認画面が表示されます。確認画面で「編集」を選ぶとステップ編集に戻ります。「取消」を選ぶと、編集内容を取り消してステップ一覧画面に戻ります。

■ 制御出力を選択した場合

- ① 「種別選択」で、「制御出力」を選択する
- ② 「開始時刻」で、動作を開始する時間を設定する
- ③ 「終了時刻」で、動作を終了する時間を設定する
- ④ 「本体」「EXT1」「EXT2」から、動作させたい外部機器が接続されているユニットを選ぶ
 - ・ 拡張ユニット1の場合は「EXT1」を、拡張ユニット2の場合は「EXT2」を選択します。

ユニットを選択した後、【選択】ダイヤルで「1」～「8」を選び、【決定】を押します。



【決定】を押すごとに制御出力端子のオン/オフが切り換わります。

- メモ： _____
- ・ 「2元放送」を選択している場合、「放送1」では「1」～「4」が、「放送2」では「5」～「8」が選択できます。

- ⑤ 設定が完了したら、【戻る】を押してステップ一覧画面に戻る
⇒ 『日課パターンを作成する』の手順9に戻ります。(P.20)

- メモ： _____
- ・ 設定に不備があった場合、確認画面が表示されます。確認画面で「編集」を選ぶとステップ編集に戻ります。「取消」を選ぶと、編集内容を取り消してステップ一覧画面に戻ります。

ステップを編集する

作成した日課パターン内のステップを選択して、設定内容を修正できます。

■ ステップを修正する

1. 『日課パターンを作成する』(P.20)の手順9で、修正したいステップを選ぶ
2. 「作成・編集」を選択し、【決定】を押す

🏠 > … > ステップ編集
ステップ001
作成・編集
名称変更
消去

ステップの内容を再設定できます。

■ ステップの名前を変更する

1. 『日課パターンを作成する』(P.20)の手順9で、名前を変更したいステップを選ぶ
2. 「名称変更」を選択し、【決定】を押す

🏠 > … > ステップ編集
ステップ001
名称変更
消去

自動で名称を割り当てるかの確認画面が表示されます。

- 「手動」で名前を変更するか「自動」で名称を割り当てるかを選択できます。
手動で変更する場合は、文字入力画面で新しい名称を入力します。文字入力の方法については『文字入力のしかた』をご覧ください。(P.12)

メモ : _____

- 自動で名称を割り当てた場合は、使用している音源ファイル名または「制御出力」が名称として登録されます。

■ ステップを消去する

1. 『日課パターンを作成する』(P.20)の手順9で、消去したいステップを選ぶ
2. 「消去」を選択し、【決定】を押す

🏠 > … > ステップ編集
ステップ001
消去

消去の確認画面が表示されます。

「はい」を選択して【決定】を押すと、選択しているステップが消去されます。

日課パターンを編集する

作成した日課パターンを選択して、設定内容を修正できます。

■ 日課パターンの名前を変更する

1. 『日課パターンを作成する』(P.20)の手順4で、名前を変更したい日課パターンを選ぶ
2. 「名称変更」を選択し、【決定】を押す

🏠 日課パターン
001 日課パターン001
作成・編集
名称変更
コピー

文字入力画面で新しい名称を入力します。文字入力の方法については『文字入力のしかた』をご覧ください。(P.12)

■ 日課パターンを消去する

1. 『日課パターンを作成する』(P.20)の手順4で、消去したい日課パターンを選ぶ
2. 「消去」を選択し、【決定】を押す

🏠 日課パターン
001 日課パターン001
消去

確認画面が表示されるので、「はい」を選択して【決定】を押すと、選択した日課パターンが消去されます。

■ 日課パターンをコピーする

すでに作成した日課パターンを元に、別の日課パターンを作成するときは、コピーしてから編集すると便利です。

1. 『日課パターンを作成する』(P.20)の手順4でコピーしたい日課パターンを選ぶ
2. 「コピー」を選択し、【決定】を押す

🏠 日課パターン
001 日課パターン001
コピー
消去

確認画面が表示されるので、「はい」を選択して【決定】を押すと、選択した日課パターンが複製され、日課パターン一覧に追加されます。

1 週間のスケジュールを設定する

どの曜日にどの日課パターンを実行するかを設定します。

メモ : _____

- 週間スケジュールは、1 つだけ作成できます。
- 「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用しても、週間スケジュールを設定できます。詳細な設定を行う場合は、「PA-DA700 設定ソフトウェア」での設定をおすすめします。

1. 【メニュー】を押す
2. 「プログラム作成」を選択し、【決定】を押す
3. 「週間スケジュール」を選択し、【決定】を押す
週間スケジュールが表示されます。

週間スケジュール		
月曜日	なし	
火曜日	001	平日パターン
水曜日	003	!パターンが参照で

- すでに日課パターンが設定されている曜日には、曜日の横に日課パターンのナンバーと名称が表示されます。設定されていない曜日は、「なし」と表示されます。
 - 設定していた日課パターンを消去した場合など、設定していたパターンが存在しない場合は「!パターンが参照できません」と赤字で表示されます。
4. スケジュールを設定したい曜日を選択し、【決定】を押す
 5. 曜日に割り当てる日課パターンを選択し、【決定】を押す

月曜日>パターン選択		
なし		
001	平日パターン	
002	土曜パターン	

メモ : _____

- 日課パターンを何も実行しない曜日は、必ず「なし」を選択してください。

6. 【戻る】を押して「週間スケジュール」画面に戻る
週間スケジュールを変更している場合は、保存の確認画面が表示されます。「はい」を選んで【決定】を押すと、変更した週間スケジュールが保存されます。
7. 手順 4 ~ 6 を繰り返して週間スケジュールを設定する

1 年間のスケジュールを作成する

年間スケジュールは、1 年間を通して個別に日課パターンを割り当てたい日がある場合に設定します。

年間スケジュールで割り当てられた日付は、同じ日に割り当てられた週間スケジュールより優先して実行されます。

メモ : _____

- 年間スケジュールは、現在年と翌年の 2 年間について設定できます。
- 「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用しても、年間スケジュールを設定できます。詳細な設定を行う場合は、「PA-DA700 設定ソフトウェア」での設定をおすすめします。

1. 【メニュー】を押す
2. 「プログラム作成」を選択し、【決定】を押す
3. 「年間スケジュール」を選択し、【決定】を押す
4. スケジュールを設定したい年を選択し、【決定】を押す
年間スケジュールが表示されます。

2023年		
+ 追加		
10/10 (火)	005	運動会
11/16 (木)	008	毎日定例

- すでにスケジュールが設定されている場合は、日付の横に日課パターンのナンバーと名称が表示されます。
 - 設定していた日課パターンを消去した場合など、設定していたパターンが存在しない場合は「!パターンが参照できません」と赤字で表示されます。
5. 「+追加」を選び、【決定】を押す
 6. 月を設定し、【決定】を押す
 7. 日を設定し、【決定】を押す
すでに設定されている日を選択した場合は、上書きするかの確認画面が表示されます。
 8. 指定日に割り当てる日課パターンを選択し、【決定】を押す

…>追加		
2023年10月11日		
001	平日パターン	
002	土曜パターン	
003	祝日パターン	

9. 手順 5 ~ 8 を繰り返して、年間スケジュールを設定する
設定する年を変えたい場合は、【戻る】を押して手順 4 に戻り、年を選択し直します。
10. 設定が完了したら【戻る】を繰り返し押して「プログラム作成」画面まで戻る

年間スケジュールを新たに作成、または変更している場合は、保存の確認画面が表示されます。「はい」を選んで【決定】を押すと、変更した年間スケジュールが保存されます。

スケジュールの設定

■ イベントを修正 / 削除する

1. 『1年間のスケジュールを作成する』(P.23)の手順5で、修正または削除したい日付を選び、【決定】を押す
2. 「変更」または「消去」を選び、【決定】を押す

📅 >2023年
10/10 (火) 003 運動会
変更
消去

- 「変更」を選んだ場合、変更したい日課パターンを選んで【決定】を押すとイベントが変更されます。
- 「消去」を選んだ場合、確認画面が表示されます。「はい」を選んで【決定】を押すと、イベントが消去されます。

スケジュール設定例

本機に接続した外部機器を、指定した日時に指定した動作を行うように設定します。
 記入例を参考にして、設定するスケジュールを各チャートに記入してください。
 チャートは巻末のものをコピーしてお使いください。
 (P.52)

1日のスケジュールチャート記入例

1日、24時間分(00時00分00秒から23時59分59秒まで)の動作を設定します。最大99パターン設定できます。

<チャート記入例>

パターン番号：001 パターン名：平日パターン01							ステップ		
ステップ番号	開始時間	終了時間	ファイル/プレイリスト名	回数	インターバル	シャットフル	制御出力番号	備考	
001	08:30:00		アナウンス01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	朝礼	
002	08:35:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	1時限目開始	
003	09:25:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	1時限目終了	
004	09:35:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	2時限目開始	
005	10:25:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	2時限目終了	
006	10:35:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	3時限目開始	
007	11:25:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	3時限目終了	
008	11:35:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	4時限目開始	
009	12:25:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	4時限目終了	
010	12:30:00	13:09:59	プレイリスト01				本体 ①②③④ 5 6 7 8 拡張1 ①② 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	昼休み・BGM再生	
011	13:10:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	予鈴	
012	13:15:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	5時限目開始	
013	14:05:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	5時限目終了	
014	14:15:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	6時限目開始	
015	15:05:00		チャイム01	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	6時限目終了	
016	17:00:00		アナウンス02	1			本体 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張1 1 2 3 4 5 6 7 8 拡張2 1 2 3 4 5 6 7 8	下校放送	

制御出力端子のうち、本体の制御出力1~4、拡張ユニット1の制御出力1と2に外部機器を接続してBGMを再生するステップです

上記1日分のチャート全体を「パターン」といいます。(パターン名は「平日パターン01」)
 パターンを構成する1行1行を「ステップ」といいます。

スケジュールの設定

週間スケジュールチャート記入例

1日のスケジュールで作成したパターンを、どの曜日にどのパターンで実行するかを設定します。

<チャート記入例>

曜日	パターン番号	パターン名	備考
月曜日 (Mon)	001	平日パターン01	
火曜日 (Tue)	001	平日パターン01	
水曜日 (Wed)	001	平日パターン01	
木曜日 (Thu)	001	平日パターン01	
金曜日 (Fri)	001	平日パターン01	
土曜日 (Sat)	002	平日パターン02	
日曜日 (Sun)	003	休日パターン01	

1週間のスケジュールを構成する1行1行は「パターン」です。

ご注意:

- 週間スケジュールは、1つだけ作成できます。

年間スケジュールチャート記入例

週間スケジュールで作成したパターン以外のパターンを実行したい日を、1年間の時期に合わせて設定できます。

<チャート記入例>

日にち	パターン番号	パターン名	備考
4月 6日	005	始業式	
4月 7日	007	入学式	
5月 10日	009	運動会	
7月 20日	006	終業式	
9月 1日	005	始業式	

通常は週間スケジュールに設定されたパターンが実行されますが、年間スケジュールで設定した日にちになると、優先して実行されます。

機能ボタンを設定する

機能ボタンに機能を割り付けて、機能ボタンを押すことで、設定した内容を実行できるようにします。

メモ：

- 「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用しても、機能ボタンの機能を設定できます。詳細な設定を行う場合は、「PA-DA700 設定ソフトウェア」での設定をおすすめします。

1. 【メニュー】を押す
2. 「プログラム作成」を選択し、【決定】を押す
3. 「機能ボタン」を選択し、【決定】を押す
ボタン名と設定されている機能が表示されます。

機能ボタン	
ボタン 1	なし
ボタン 2	日課パターン開始
ボタン 3	音源再生開始

4. 「ボタン 1」～「ボタン 8」から機能を割り当てるボタンを選択し、【決定】を押す
ボタンに割り付ける機能の一覧が表示されます。

>ボタン 1	
●なし	
スケジュール停止	
日課パターン開始	

- 現在ボタンに割り付けられている機能は、機能名の横にアイコンが表示されます。

5. 割り当てたい機能を選択し、【決定】を押す（初期値：なし）

>ボタン 1	
●なし	
スケジュール停止	
日課パターン開始	

ボタンで実行する機能を以下から選択し、設定します。

- 「スケジュール停止」：
現在運用中のスケジュールを停止します。
⇒ 『「スケジュール停止」を選択した場合』
- 「日課パターン開始」：
現在運用中の日課パターンに代わって、選択した日課パターンを実行します。
⇒ 『「日課パターン開始」を選択した場合』 (P.28)
- 「音源再生開始」：
選択した音源ファイルを再生します。再生終了後に制御出力端子に接続されている外部機器を動作させる終了連動も行えます。
⇒ 『「音源再生開始」を選択した場合』 (P.28)
- 「制御出力開始」：
選択した制御出力端子に接続されている外部機器を動作させます。
⇒ 『「制御出力開始」を選択した場合』 (P.28)
- 「なし」：
機能ボタンを押しても動作しません。

6. 設定が完了したら、【戻る】を押す

設定を保存する確認画面が表示されます。確認画面で「はい」を選んで【決定】を押すと、機能ボタンに選択した機能が割り付けられます。

■ 「スケジュール停止」を選択した場合

現在運用中のスケジュールを停止します。

>ボタン 1 >スケジュール停止	
モード	
	1日
	2日

- ① 「モード」を選択し、「1日」「2日」「継続」から選択する（初期値：1日）
 - 「1日」：翌日に自動的に解除します。
 - 「2日」：翌々日に自動的に解除します。
 - 「継続」：手動で機能ボタンを押して解除するまで、処理を継続します。
- ② 設定が完了したら、【戻る】を押す
⇒ 『機能ボタンを設定する』の手順 5 へ戻ります

ボタンや端子に機能を割り付ける

■「日課パターン開始」を選択した場合

現在運用中の日課パターンに代わって、選択した日課パターンを実行します。

☰ > ボタン 1 > 日課パターン開始	
パターン選択	平日パターン
モード	1日

- ① 「日課パターン」を選択し、実行したい日課パターンを選ぶ
- ② 「モード」を選択し、「1日」「2日」「継続」から選択する（初期値：1日）
 - 「1日」：翌日に自動的に解除します。
 - 「2日」：翌々日に自動的に解除します。
 - 「継続」：手動で機能ボタンを押して解除するまで、処理を継続します。
- ③ 設定が完了したら、【戻る】を押す
⇒『機能ボタンを設定する』の手順 5 へ戻ります (P.27)

■「音源再生開始」を選択した場合

選択した音源ファイルを再生します。

☰ > ボタン 1 > 音源再生開始	
音源選択	
再生回数	エンドレス
インターバル	00分00秒

- ① 「音源選択」を選択し、音源を選択する
音源選択の手順については、『音源ファイルを選択する』をご覧ください。(P.17)
- ② 再生回数を選択し、「1」～「99」、または「エンドレス」から選択する（初期値：1）
- ③ 「インターバル」を選択し、インターバル時間を設定する
「再生回数」で「1」を選択している場合は、インターバルは設定できません。
- ④ 「シャッフル」を選択し、「ON」または「OFF」から選択する（初期値：OFF）
「音源選択」でプレイリストを選択していない場合は、シャッフルは設定できません。
 - 「ON」：プレイリスト内のファイルをランダムに再生します。
 - 「OFF」：プレイリスト内のファイルをステップ順に再生します。
- ⑤ 「優先」を選択し、「ON」または「OFF」から選択する（初期値：OFF）
 - 「ON」：起動優先モードの設定に関係なく最優先で再生されます。起動優先モードの設定については、『取扱説明書 設置編』の「起動優先モード」をご覧ください。
 - 「OFF」：起動優先モードの設定に従って再生されます。
- ⑥ 「音量」を選択し、「0」～「10」から選択する（初期値：8）
- ⑦ 「音声出力」を選択し、音声出力する端子の番号を選ぶ
端子番号を選んで【決定】を押すごとに、出力のオン/オフが切り換わります。設定が完了したら、【戻る】を押します。

- ⑧ 「本体」「EXT1」「EXT2」から、音源再生時に動作させたい外部機器が接続されているユニットを選ぶ
ユニットを選択した後、【選択】ダイヤルで「1」～「8」を選び、【決定】を押します。

☰ > ボタン 1 > 音源再生開始	
<input checked="" type="checkbox"/> 開始連動	<input type="checkbox"/> 終了連動
制御出力 5	
本体	1 2 3 4 5 6 7 8

- 端子を選んで【決定】を押すごとに、開始連動/終了連動/動作なしが切り換わります。設定が完了したら、【戻る】を押します。

メモ：

- 終了連動に設定すると、再生動作開始時ではなく、再生終了時に制御信号が出力されます。

- ⑨ 設定が完了したら、【戻る】を押す
⇒『機能ボタンを設定する』の手順 5 へ戻ります (P.27)

■「制御出力開始」を選択した場合

選択した制御出力端子に接続されている外部機器を作動します。

☰ > ボタン 1 > 制御出力開始	
本体	1 2 3 4 5 6 7 8
EXT1	1 2 3 4 5 6 7 8
EXT2	1 2 3 4 5 6 7 8

- ① 「本体」「EXT1」「EXT2」から、動作させたい外部機器が接続されているユニットを選ぶ
ユニットを選択した後、【選択】ダイヤルで「1」～「8」を選び、【決定】を押します。

☰ > ボタン 1 > 制御出力開始	
制御出力 6	
本体	1 2 3 4 5 6 7 8

- 端子を選んで【決定】を押すごとに、オン/オフが切り換わります。設定が完了したら、【戻る】を押します。
- ② 設定が完了したら、【戻る】を押す
⇒『機能ボタンを設定する』の手順 5 へ戻ります (P.27)

制御入力端子の機能を設定する

本機背面の制御入力端子に機能を設定します。接続した外部機器からの信号を受信することで、設定した内容を実行するようにします。

メモ : _____

- 「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用しても、制御入力端子の機能を設定できません。詳細な設定を行う場合は、「PA-DA700 設定ソフトウェア」での設定をおすすめします。

1. 【メニュー】を押す
 2. 「プログラム作成」を選択し、【決定】を押す
 3. 「制御入力」を選択し、【決定】を押す
- 優先方式 / 検出方式の現在の設定と、ユニットが表示されます。

➡ > 制御入力	
優先方式	後優先
検出方式	パルス
! 本体ユニット	

- 優先方式や検出方式を変更して、現在の方式では使用できない機能を設定していた場合は、ユニット名の左に「!」がつき、赤字で表示されます。
4. 「優先方式」を選択し、「後優先」、「先優先」、「順次記憶」から選択する (初期値: 後優先)
 5. 「検出方式」を選択し、「パルス」、「レベル」から選択する (初期値: パルス)

メモ : _____

- 優先方式と検出方式による動作の優先順位については、『制御入力の優先順位について』をご覧ください。(P.31)

6. 「本体ユニット」「拡張ユニット 1」「拡張ユニット 2」から制御入力を設定したいユニットを選び、【決定】を押す
- ユニットの制御入力端子番号と、割り当てられた機能がリスト表示されます。

🔍 > 本体ユニット	
01	なし
02	スケジュール停止
03	日課パターン開始

- 現在の優先方式 / 検出方式で使用できない機能が設定されている場合は、番号の左に「!」が付き、赤字で表示されます。

7. 設定したい制御入力の番号を選択し、【決定】を押す
 8. 割り当てたい機能を選択し、【決定】を押す (初期値: なし)
- 制御入力で行う機能を以下から選択し、設定します。

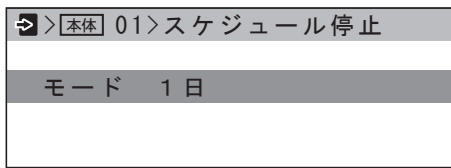
- 「スケジュール停止」:
現在運用中のスケジュールを停止します。
⇒ 『「スケジュール停止」を選択した場合』(P.30)
- 「日課パターン開始」:
現在運用中の日課パターンに代わって、選択した日課パターンを実行します。
⇒ 『「日課パターン開始」を選択した場合』(P.30)
- 「日課パターン停止」:
機能ボタンまたは制御入力により実行している日課パターンを停止します。
※ スケジュールで実行している日課パターンは停止しません。
- 「音源再生開始」:
選択した音源ファイルを実行します。
⇒ 『「音源再生開始」を選択した場合』(P.30)
- 「音源再生停止」:
「音源再生開始」で動作している音源の再生および制御出力を停止します。
※ スケジュールで再生している音源は停止しません。
- 「制御出力開始」:
選択した制御出力端子に接続されている外部機器を動作させます。
⇒ 『「制御出力開始」を選択した場合』(P.31)
- 「制御出力停止」:
「制御出力開始」で動作している全ての制御出力を停止します。
※ 「音源再生開始」で動作している制御出力および、スケジュールでの再生による制御出力は停止しません。
- 「順次記憶消去」:
順次記憶で動作を待機している動作を消去します。
※ 優先方式を「順次記憶」に設定している場合のみ、設定できます。
- 「時刻補正」:
時刻補正出力を内蔵した機器からの時刻補正信号で、本機の時刻を修正します。
※ 本体ユニットの制御入力の場合のみ、設定できます。
- 「なし」:
制御入力端子からの信号が入っても動作しません。

9. 設定が完了したら、【戻る】を押す
- 設定を保存する確認画面が表示されます。確認画面で「はい」を選んで【決定】を押すと、選択した制御入力に、設定した機能が割り付けられます。

ボタンや端子に機能を割り付ける

■「スケジュール停止」を選択した場合

現在運用中の現在運用中のスケジュールを停止します。



- ① 「モード」を選択し、「1日」「2日」「継続」から選択する（初期値：1日）
 - 「1日」：翌日に自動的に解除します。
 - 「2日」：翌々日に自動的に解除します。
 - 「継続」：解除するまで、処理を継続します。

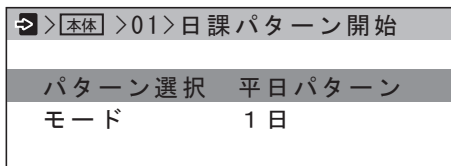
メモ：

- 「モード」は、検出方式が「パルス」の場合は「1日」「2日」、「レベル」の場合は「継続」が選択できます。

- ② 設定が完了したら、【戻る】を押す
⇒『端子の機能を設定する』の手順8へ戻ります (P.29)

■「日課パターン開始」を選択した場合

現在運用中の日課パターンに代わって、選択した日課パターンを実行します。



- ① 「日課パターン」を選択し、実行したい日課パターンを選ぶ
- ② 「モード」を選択し、「1日」「2日」「継続」から選択する（初期値：1日）
 - 「1日」：翌日に自動的に解除します。
 - 「2日」：翌々日に自動的に解除します。
 - 「継続」：手動で機能ボタンを押して解除するまで、処理を継続します。

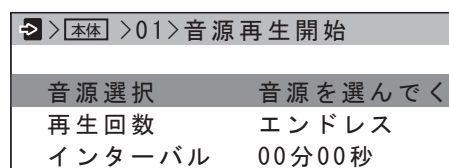
メモ：

- 「モード」は、検出方式が「パルス」の場合は「1日」「2日」、「レベル」の場合は「継続」が選択できます。

- ③ 設定が完了したら、【戻る】を押す
⇒『端子の機能を設定する』の手順8へ戻ります (P.29)

■「音源再生開始」を選択した場合

選択した音源ファイルを再生します。

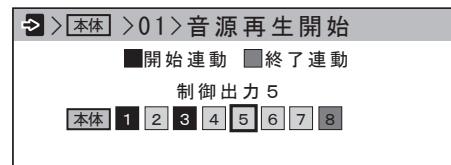


- ① 「音源選択」を選択し、音源を選択する
音源選択の手順については、『音源ファイルを選択する』をご覧ください。(P.17)
- ② 再生回数を選択し、「1」～「99」、または「エンドレス」から選択する（初期値：1）

メモ：

- 検出方式が「レベル」の場合は、「再生回数」は「エンドレス」しか選択できません。

- ③ 「インターバル」を選択し、インターバル時間を設定する
「再生回数」で「1」を選択している場合は、インターバルは設定できません。
- ④ 「シャッフル」を選択し、「ON」または「OFF」から選択する（初期値：OFF）
「音源選択」でプレイリストを選択していない場合は、シャッフルは設定できません。
 - 「ON」：プレイリスト内のファイルをランダムに再生します。
 - 「OFF」：プレイリスト内のファイルをステップ順に再生します。
- ⑤ 「優先」を選択し、「ON」または「OFF」から選択する（初期値：OFF）
 - 「ON」：起動優先モードの設定に関係なく最優先で再生されます。起動優先モードの設定については、『取扱説明書 設置編』の「起動優先モード」をご覧ください。
 - 「OFF」：起動優先モードの設定に従って再生されます。
- ⑥ 「音量」を選択し、「0」～「10」から選択する（初期値：8）
- ⑦ 「音声出力」を選択し、音声出力するチャンネルを選ぶ
チャンネルを選んで【決定】を押すごとに、出力のオン/オフが切り換わります。設定が完了したら、【戻る】を押します。
- ⑧ 「本体」「EXT1」「EXT2」から、音源再生時に動作させたい外部機器が接続されているユニットを選ぶ
ユニットを選択した後、【選択】ダイヤルで「1」～「8」を選び、【決定】を押します。



- 端子を選んで【決定】を押すごとに、開始連動/終了連動/動作なしが切り換わります。設定が完了したら、【戻る】を押します。

メモ：

- 終了連動に設定すると、再生動作開始時ではなく、再生終了時に制御信号が出力されます。

- ⑨ 設定が完了したら、【戻る】を押す
⇒『端子の機能を設定する』の手順8へ戻ります (P.29)

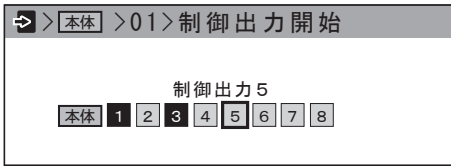
■「制御出力開始」を選択した場合

選択した制御出力端子に接続されている外部機器を作動させます。



① 「本体」「EXT1」「EXT2」から、動作させたい外部機器が接続されているユニットを選ぶ

ユニットを選択した後、【選択】ダイヤルで「1」～「8」を選び、【決定】を押します。



• 端子を選んで【決定】を押すごとに、オン/オフが切り換わります。設定が完了したら、【戻る】を押します。

② 設定が完了したら、【戻る】を押す
⇒ 『端子の機能を設定する』の手順 8 へ戻ります (P.29)

メモ :

• 同一時間に複数の制御出力を行う場合は、1つのステップにまとめて設定してください。

制御入力の優先順位について

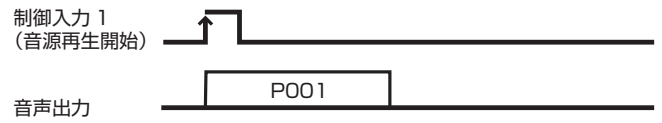
「優先方式」と「検出方式」の設定によって、複数の制御入力があった場合の優先順位が異なります。

以下の内容は、「制御入力1」にプレイリスト P001、「制御入力2」にプレイリスト P002、「制御入力3」にプレイリスト P003 の再生を割り付けた場合を例として説明しています。

■ 検出方式「パルス」の場合

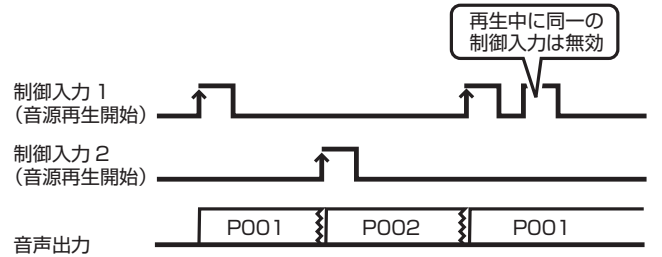
パルス方式では、制御信号の立ち上がりを検出して、再生を実行します。

• 再生回数が設定されている場合は、1回の動作で設定されている回数を繰り返して再生します。



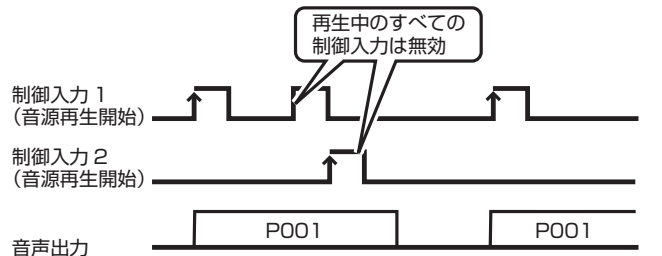
優先方式「後優先」の場合

- 後から入力された制御信号を優先します。
- 再生中に制御信号が入力されると現在再生中の音源は停止し、後から入力された音源を再生します。
- 「停止」信号を入力すると、再生中の音源を停止します。



優先方式「先優先」の場合

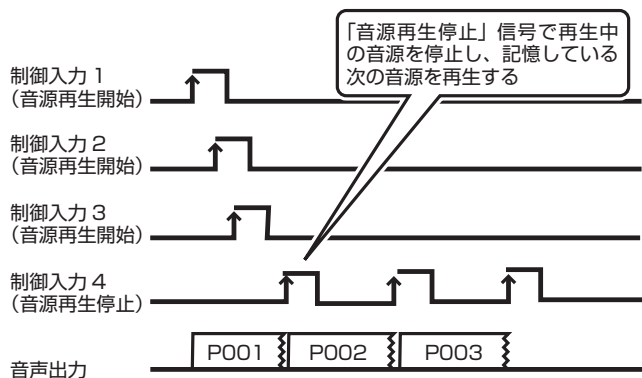
- 先に入力された制御信号による動作を優先します。
- 再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中の音源は最後まで再生します。
- 「停止」信号を入力すると、再生中の音源が停止します。



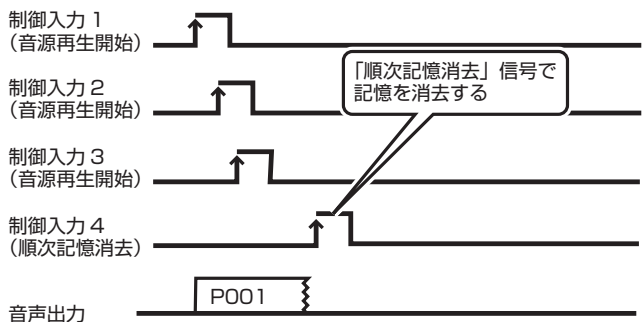
ボタンや端子に機能を割り付ける

優先方式「順次記憶」の場合

- 再生中に制御信号が入力されると、入力された順番に記憶します。
- 順次記憶は、機能ボタン 8 個、制御入力端子 16 個の最大 24 個まで記憶可能です。拡張モードの場合、拡張ユニット 1/ 拡張ユニット 2 それぞれ制御入力 16 個まで拡張可能になります。
- 再生中の音源を最後まで再生し、再生が終了すると記憶された順に従い、順次再生を行います。
- 待機中および再生中の同一制御入力は無効です。

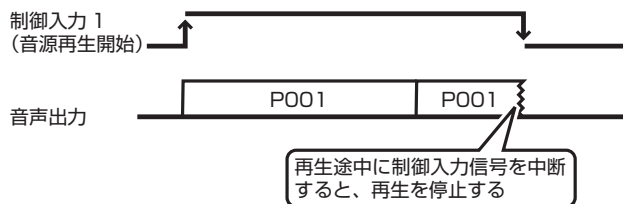


- 「順次記憶消去」信号を入力すると、順次記憶をすべてクリアします。



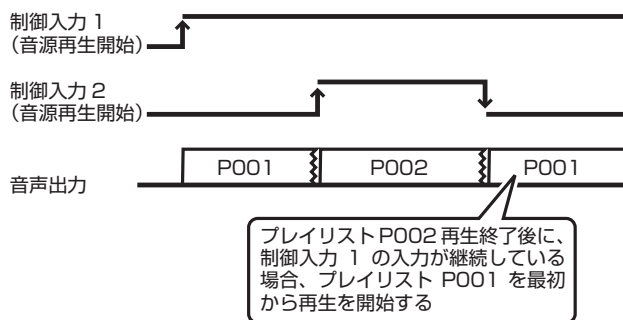
■ 検出方式「レベル」の場合

制御信号の立ち上がりを検出して動作を開始し、制御信号が連続的に入力されている間は繰り返し再生を行います



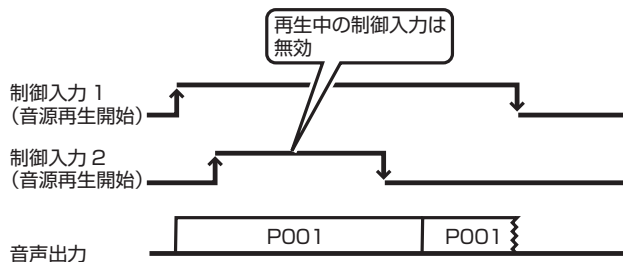
優先方式「後優先」の場合

- 後から入力された制御信号を優先します
- 再生中に制御信号が入力されると、再生中の音源を停止し、次の音源再生に移行します
- 後からの制御入力が終了後にも前の制御入力が続いている場合、前の制御入力からの再生が最初から再生されます。



優先方式「先優先」の場合

- 先に入力された制御信号による動作を優先します。
- 再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中の音源を最後まで再生します。



スケジュールを動作確認する

スケジュールを実行する前に、正しく動作するかリハーサルを行います。

リハーサルでは、設定した時間帯、設定日を待たずに、指定したパターンの再生を連続して実行できます。

1. 【メニュー】を押す
2. 「プログラム作成」を選択し、【決定】を押す
3. 「リハーサル」を選択し、【決定】を押す
4. 「日課パターン一覧」、「週間スケジュール」、「年間スケジュール」から、リハーサルを行いたいスケジュールを選択する。
5. リハーサルを行う日課パターンを選択する
 - 「日課パターン一覧」の場合
リハーサルをしたい日課パターンを選択します。
 - 「週間スケジュール」の場合
曜日のリストから、リハーサルをしたい曜日を選択します。
 - 年間スケジュールの場合
リハーサルをしたい年と指定日をリストから選択します。
6. 「放送 1」「放送 2」からリハーサルを行う放送を選択し、【決定】を押す

リハーサル
001 平日パターン
! 放送 1
放送 2

選択しているパターンのステップ一覧が表示されます。

放送 1
001 平日パターン
07:30 館内BGM2
08:40 館内案内チャイム1
12:56 業務開始内容

メモ : _____

- パターン中に時間が重複するステップがある場合、リストの左に「!」が付き、赤字で表示されます。

7. リハーサルを開始するステップを選択し、【決定】を押す
リハーサルの再生画面が表示されます。

8. ステップを再生し、正しく動作するか確認する。

放送 1
001 平日パターン
! 08:40 館内案内チャイム1
▶ 開始 ▶▶ 次へ

- 「▶ 開始」を選択すると、ステップが再生されます。制御出力も出力する場合は、同時に出力されます。
※ 再生が終了しても、次のステップへは移りません
- 「■ 停止」を選択すると、再生中のステップが停止します。
- 「▶▶ 次へ」を選択すると、次のステップへ切り換わります。日課パターン内の最後のステップが終了すると、「▶▶ 次へ」はグレー表示になります。

ご注意 : _____

- リハーサル画面では、パターン中に時間が重複するステップがある場合、ステップの時刻の左に「!」が付き、赤字で表示されます。
- 「!」が付いたステップはリハーサル画面では再生されませんが、実際にスケジュールを実行した場合には正しく動作しませんのでご注意ください。

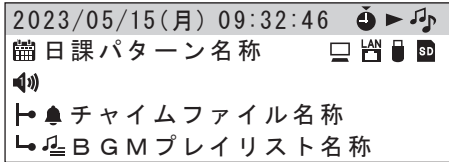
スケジュールの実行と停止

スケジュールを実行する

すべての設定が完了した後、本機を運用状態にしてスケジュールを実行します。

1. 本機の待機中に【運用開始 / 停止】を押す

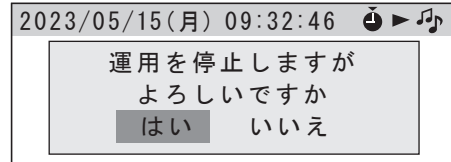
運用状態になり、ディスプレイが「待機中」から運用画面に切り換わります。



スケジュールを停止する

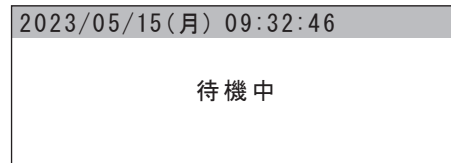
1. 運用中に【運用開始 / 停止】を押す

運用停止の確認画面が表示されます。



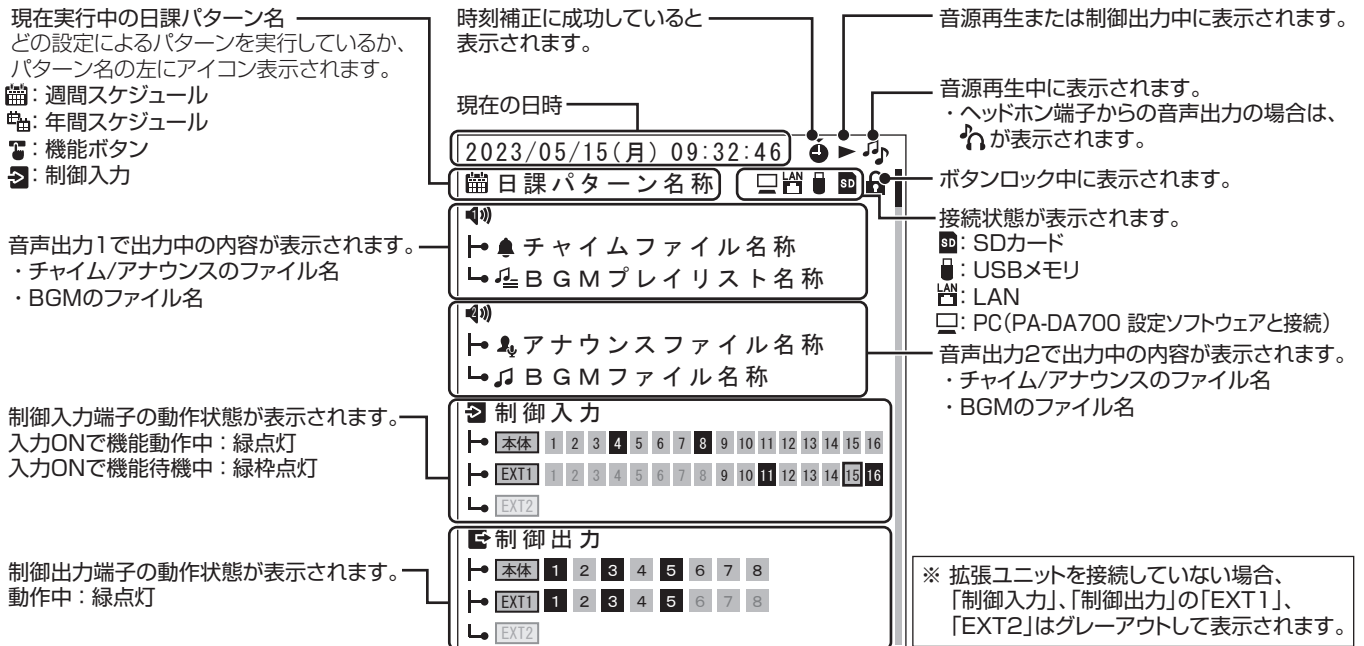
2. 「はい」を選択し、【決定】を押す

本機が待機状態になり、ディスプレイに「待機中」と表示されます。



運用画面の見かた

運用画面では、【選択】ダイヤルで表示内容を上下に切り替えて確認できます。

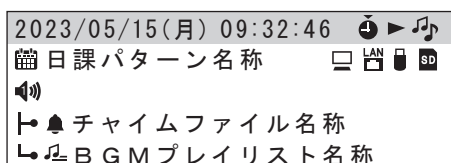


機能ボタンや制御入力端子の機能を実行する

機能ボタンに割り付けた機能や、制御入力信号端子からの信号で機能を実行します。

機能ボタンに割り当てた動作を実行する

1. ディスプレイ表示で、運用状態であることを確認する



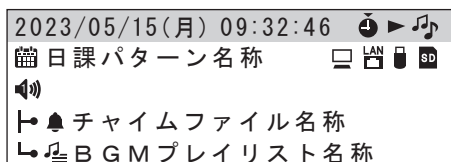
2. 機能ボタンを押す

機能ボタンに割り当てた動作が実行されます。

- 実行中は、機能ボタン上の表示灯が点灯します。
- 複数の機能を実行して待機中の機能がある場合は、待機中の機能ボタン上の表示灯が点滅します。

制御入力端子に割り当てた動作を実行する

1. ディスプレイ表示で、運用状態であることを確認する



2. 外部機器から本機に信号を入力する

「制御入力」設定で割り当てた動作が実行されます。

- 制御入力信号の受信中は、運用画面の該当する制御入力端子の番号が点灯します。

メモ : _____

- 音源再生を割り当てている場合は、アンプなどの電源が入ってから起動ウェイト時間後に再生されます。

機能ボタンや制御入力端子の機能を停止する

スケジュール設定時は、機能ボタン、または制御入力端子の動作を停止すると、通常のスケジュール設定した動作に戻ります。

機能ボタンの動作を停止する

1. 動作している機能ボタンを押す

機能ボタンの動作を停止し、機能ボタン上の表示灯が消灯します。

制御入力端子に割り当てた動作を停止する

1. 外部機器から「日課パターン停止」「音源再生停止」「制御出力停止」のいずれかの制御信号を入力する
制御入力端子で実行している該当する動作が停止します。

わりこみ再生ボタンで操作する

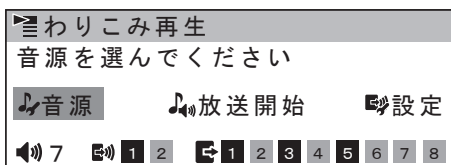
【わりこみ再生】ボタンを使うと、運用を停止せずに、割り込む形で音源を選択して再生できます。

ご注意:

- 優先放送の再生中は、わりこみ再生は行えません。

1. 運用中に【わりこみ再生】を押す

わりこみ再生の設定画面が表示されます。



2. 「音源」を選び、音源を選ぶ

音源選択の方法については、『音源ファイルを選択する』をご覧ください。(P.17)

3. 「設定」を選択し、【決定】を押す

わりこみ再生の出力設定画面が表示されます。



4. 「音量」を選び、「0」～「10」から選ぶ（初期値：8）

5. 「音声出力」を選び、出力する音声出力端子チャンネルを選択する

- 端子番号を選んで【決定】を押すごとに、出力のオン/オフが切り換わります。設定が完了したら、【戻る】を押します。

6. 「本体」「EXT1」「EXT2」から機器を選択し、出力する端子を選択する

- 端子を選んで【決定】を押すごとに、端子の有効/無効が切り換わります。設定が完了したら、【戻る】を押します。

7. 「放送開始」を選択し、【決定】を押す

わりこみ再生の再生画面が表示されます。



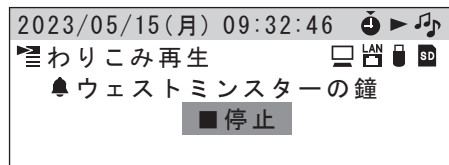
8. 「OFF」を選び、くり返し再生の設定をする

- 【決定】を押すたびにリピートの ON/OFF が切り換わります。

9. 「再生」を選択し、【決定】を押す

スケジュール／機能ボタン／制御入力の動作が停止することの確認画面が表示されます。

確認画面で「OK」を選択して【決定】を押すと、わりこみ再生を開始します



わりこみ再生を停止する

1. 「停止」が選択された状態で【決定】を押す

わりこみ再生停止の確認画面が表示されます。

確認画面で「はい」を選択して【決定】を押すと、わりこみ再生を停止してスケジュールの運用に戻ります。

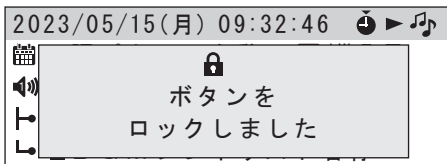
ボタンをロックする／解除する

ボタンをロックすることで、誤ってボタンに触れる事での誤操作を防ぐ事ができます。

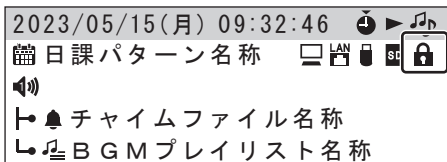
ボタンをロックする

1. 【メニュー】を長押しする

ボタンロック画面が表示されます。



ボタンロック中は、ディスプレイの右上に鍵のアイコンが表示されます。



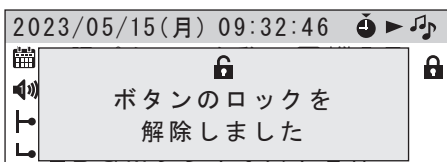
- ボタンロック中でも、【選択】ダイヤルで運用画面の表示を切り換えることができます。

ご注意：

- メニュー画面の表示中は、ボタンのロック設定はできません。
- ロック中は【電源】ボタンを含むすべてのボタンがロックされます。
- 停電などで本機の電源が切れても、ロック状態は保持されます。

ボタンのロックを解除する

1. ボタンのロック中に【メニュー】を長押しする



ボタンのロックが解除され、鍵のアイコン表示が消えます。

録音

音声を録音する

本体前面の録音入力端子に録音する機器を接続し、SDカードに音声を録音できます。
録音した音声は「録音音源」として音源リストに追加されます。

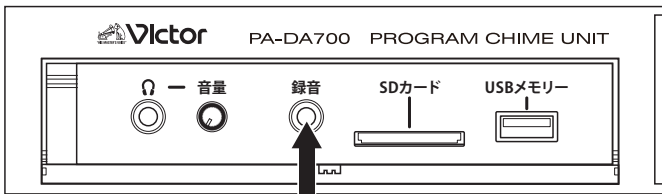
録音音源は、チャイム / アナウンス / BGM ファイルに種別を変更して登録することが可能です。

録音の準備をする

録音をするための機器を接続します。

■ 本機に録音する機器を接続する

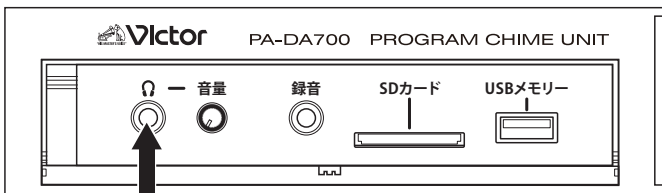
本体前面カバー内の録音入力端子に、録音する機器を接続します。



オーディオプレーヤーなど

■ ヘッドホンを接続する

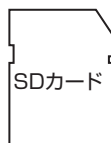
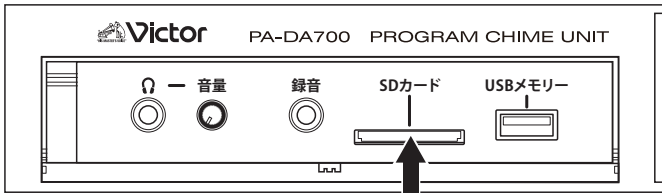
録音した音声を試聴するために、本体前面カバー内のヘッドホン端子に、ヘッドホンを接続します。



ヘッドホン

■ SD カードを挿入する

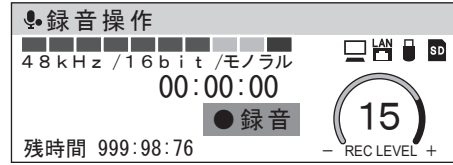
音声を保存する SD カードを、本体前面カバー内の SD カードスロットに挿入しておきます。



録音する

録音は、設定メニューの「録音操作」画面から行います。

1. 【メニュー】を押す
2. 「録音操作」を選択し、【決定】を押す
「録音操作」画面が表示されます。



3. 【選択】ダイヤルで REC LEVEL を調整する
レベルメーターの表示を確認しながら、ダイヤルで録音音声の入力レベルを調整します。
4. 【決定】を押して録音を開始する
表示が録音中になり、「●録音」が「■停止」に切り換わります。



- 録音中は、入力レベルの調整はできません。

5. 【決定】を押して録音を停止する
録音終了後は、以下の項目が選択できます。



- 「試聴」:
試聴画面に切り換わり、録音した音源を試聴できます。
 - 「登録」
録音した音源を音源ファイルとして登録します。登録する場合は、手順 6 へ進みます。
 - 「録音し直す」
録音した音源を破棄し、「録音操作」画面に戻ります。
6. 「はい」または「他の種別に登録」を選択し、【決定】を押す

- 「はい」を選んだ場合は、録音した音源を「録音音源」として音源リストに登録します。
- 「他の種別に登録」を選んだ場合は、「チャイム」、「アナウンス」、「BGM」から種別を選んで音源リストに登録します。

ご注意:

- 「録音音源」以外の種別に登録した場合、後から種別を変更することはできませんのでご注意ください。

メモ:

- 録音した音源ファイルの名称は、録音した日付と時刻を並べた名称で自動的に登録されます。必要に応じて後から名称を変更してください。(P.17)

録音音源の種別を変更する

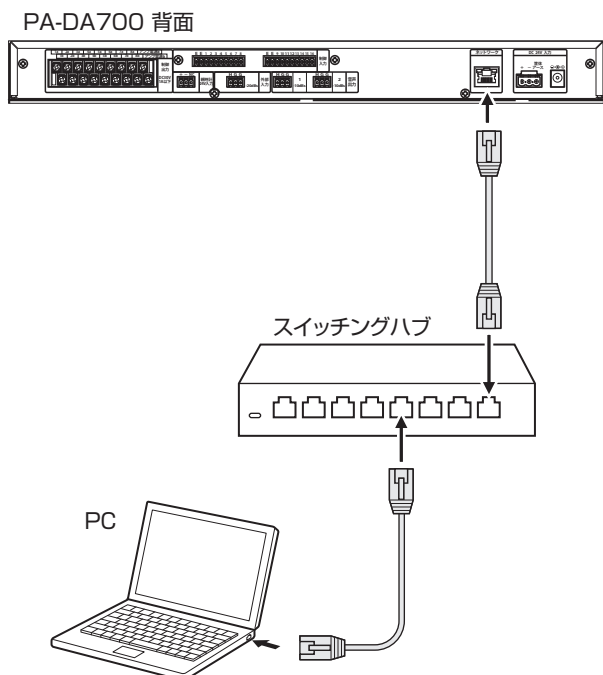
録音音源として登録されている音源ファイルは、音源リストで録音音源ファイルを選択し、「種別変更」を選択すると種別を「チャイム」「アナウンス」「BGM」のいずれかに変更し、登録することができます。(P.17)

その他の操作

パソコンを使って設定・制御する

ホームページからダウンロードできる「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用して、本機の設定や制御をパソコンで行うことができます。

本機と PC をスイッチングハブを介して同一のネットワークに接続するか、本機と PC を LAN ケーブルで直接接続して、リモート操作の設定を行います。



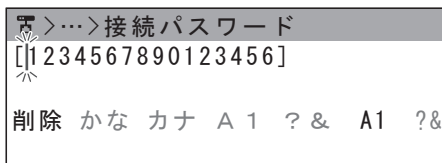
リモート操作の設定をする

ネットワーク上の PC から接続するための設定をします。

1. 【メニュー】を押す
2. 「ネットワーク設定」を選択し、【決定】を押す
3. 「リモート操作」を選択し、【決定】を押す
4. 「運用者」または「設置者」を選択し、【決定】を押す
5. 設定したい項目を選択し、【決定】を押す



- 「アクセス制限」:
運用者 / 設置者が本機に接続して操作できるかを「拒否」または「許可」から選択します。
- 「接続パスワード」:
運用者 / 設置者が本機に接続する際のパスワードを設定します。文字入力の方法については『文字入力のしかた』をご覧ください。(P.12)



ご注意:

- 容易に推測されないパスワードを設定してください。また、パスワードは定期的に変更してください。

6. 設定が完了したら、【戻る】を押す

PC と接続する

PC 側の「PA-DA700 設定ソフトウェア」の機能制御画面で、本機を登録して接続します。

詳しい操作は『PA-DA700 設定ソフトウェア 取扱説明書』をご覧ください。

設定を取り出す / 取り込む

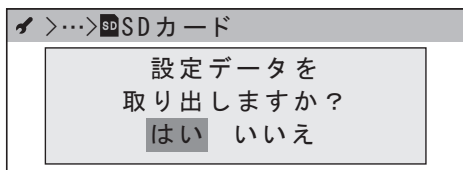
本機の設定データや追加音源ファイルを、SD カードや USB メモリーに取り出して保存し、他の PA-DA700 や付属の「PA-DA700 設定ソフトウェア」に取り込むことができます。あらかじめ SD カードまたは USB メモリーを用意し、本機に挿入しておきます。

データを取り出す

設定データや追加音源ファイルを、SD カードや USB メモリーに取り出します。

1. 【メニュー】を押す
2. 「メンテナンス」を選択し、【決定】を押す
3. 「データの移動」を選択し、【決定】を押す
4. 取り出したいデータを「設定データ」または「追加音源」から選択し、【決定】を押す
5. 「取り出し」を選択し、【決定】を押す
6. 保存先を「SD カード」または「USB メモリー」から選択し、【決定】を押す

確認画面が表示されます。



7. 「はい」を選択し、【決定】を押す

選択したデータが保存先のメディアに保存されます。保存の完了後、「OK」を選ぶとメディアを取り出すか選択できます。

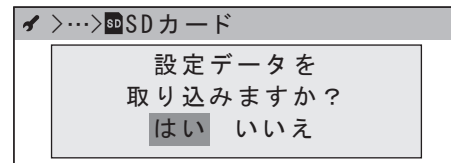
メモ : _____

- SD カード / USB メモリーの挿入と取り外しについては、『PA-DA700 取扱説明書（設置編）』の「SD カード / USB メモリーを入れる」をご覧ください。

取り出したデータを取り込む

SD カードや USB メモリーに取り出したデータを、本機に取り込みます。

1. 【メニュー】を押す
 2. 「メンテナンス」を選択し、【決定】を押す
 3. 「データの移動」を選択し、【決定】を押す
 4. 取り込みたいデータを「設定データ」または「追加音源」から選択し、【決定】を押す
 5. 「取り込み」を選択し、【決定】を押す
 6. 取り込み元のデータが保存されたメディアを「SD カード」または「USB メモリー」から選択し、【決定】を押す
- 確認画面が表示されます。



7. 「はい」を選択し、【決定】を押す

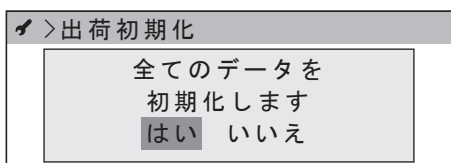
選択したデータが本機に取り込まれます。取り込み完了後、「OK」を選ぶとメディア選択の画面に戻ります。

工場出荷時の設定に戻す

すべての設定を初期化する

本機内のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. 【メニュー】を押す
 2. 「メンテナンス」を選択し、【決定】を押す
 3. 「出荷初期化」を選択し、【決定】を押す
- 確認画面が表示されます。



4. 「はい」を選択し、【決定】を押す
- 本機に保存された設定データが初期化されます。

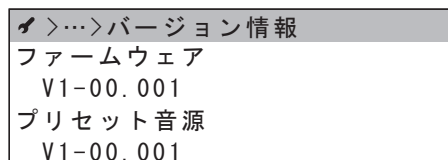
ご注意:

- 設定の初期化後は、必要な設定をやり直す必要があります。
- 『取り出したデータを取り込む』や『PA-DA700 取扱説明書 設置編』に記載の「バックアップから復元する」、「データを取り込む」をご覧になり、再設定を行なってください。

バージョンを表示する

現在使用中のソフトウェアのバージョンを確認できます。

1. 【メニュー】を押す
 2. 「メンテナンス」を選択し、【決定】を押す
 3. 「ソフトウェア」を選択し、【決定】を押す
 4. 「バージョン情報」を選択し、【決定】を押す
- 現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。

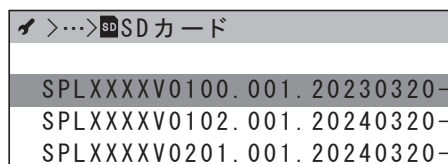


ソフトウェアをアップデートする

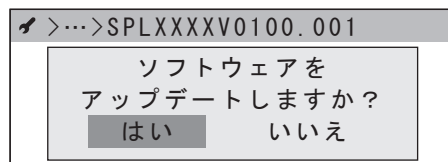
本機のアップデートファイルが提供された場合、ソフトウェアのアップデートができます。

あらかじめアップデートファイルをSDカードかUSBメモリーに保存し、本機に挿入しておきます。

1. 【メニュー】を押す
 2. 「メンテナンス」を選択し、【決定】を押す
 3. 「ソフトウェア」を選択し、【決定】を押す
 4. 「アップデート」を選択し、【決定】を押す
 5. アップデートファイルが保存されたメディアを「SDカード」または「USBメモリー」から選択し、【決定】を押す
- アップデートファイルの一覧が表示されます。



6. アップデートファイルを選択し、【決定】を押す
- アップデートの確認画面が表示されます。



7. 「はい」を選択し、【決定】を押す
- ソフトウェアのアップデートが行われます。

ご注意:

- アップデート中は、本機の電源を切らないでください。
- アップデート中は、SDカードやUSBメモリーを抜かないでください。

アップデート完了後、「OK」を選ぶと本機が再起動します。

本機を再起動する

本機の動作がおかしいときは、本機を再起動してみます。

1. 【電源】を10秒以上押し続けてはなす

本機が再起動します。再起動後は、「オートスタート」の設定にしたがって運用 / 待機状態になります。「オートスタート」設定については、『PA-DA700 取扱説明書（設置編）』の「起動時の状態を設定する」をご覧ください。

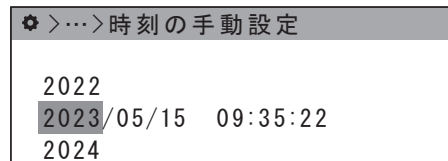
メモ : _____

- 再起動は、「機器操作」メニューの「再起動」を選択しても実行できます。

時刻を手動で設定する

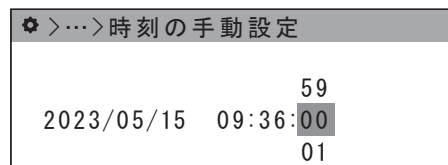
時刻補正機能を使用しない場合や、補正信号が検出できずに時刻補正が行えない場合は、手動で時刻を設定します。

1. 【メニュー】を押す
2. 「システム設定」を選択し、【決定】を押す
3. 「基本設定」を選択し、【決定】を押す
4. 「時刻設定 / 補正確認」を選択し、【決定】を押す
5. 「時刻の手動設定」を選択し、【決定】を押す
6. 年を設定し、【決定】を押す



【決定】を押すと、カーソルが月に移動します。

7. 月 / 日 / 時 / 分 / 秒の順に時刻を合わせる。



秒を設定するときに電話の時報などに合わせて【決定】を押し、時刻を合わせます。

メモ : _____

- 親時計 / 制御入力による時刻補正を設定している場合、時刻補正のタイミング（02:00、7:00、12:00、19:00）で30秒以上のずれがあると正しく補正されません。

ログ管理について

本機で行った動作を確認できます。

ご注意：

- 本機に記録できるログファイルは最大 100 個で、1 個のログファイルに記録できる動作ログはおよそ 1000 件です。ログファイルが 100 個を超える場合は、一番古いログファイルが削除されます。

動作ログを確認する

動作ログで、本機で行った動作を確認できます。

1. 【メニュー】を押す
2. 「メンテナンス」を選択し、【決定】を押す
3. 「ログ」を選択し、【決定】を押す
4. 「動作ログ」を選択し、【決定】を押す
5. 「ログの表示」を選択し、【決定】を押す

ログファイルの一覧が表示されます。

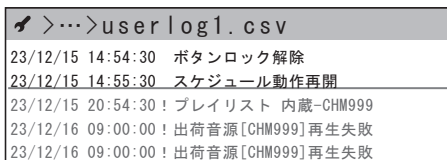


メモ：

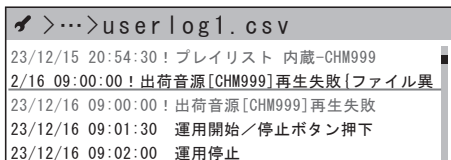
- 動作ログがない場合は、「動作ログが 1 件もありません」と表示されます。

6. 確認したいログファイルを選択し、【決定】を押す

動作ログの一覧が表示されます。



- ダイヤルで、動作ログの表示を上下に切り替えられます。
- 【決定】を押すと、次の異常 / 警告ログの位置にカーソルが移動します。
- 1 行で表示しきれない動作ログは、カーソルを合わせると自動的にスクロールして続きが表示されます。



動作ログは、以下のような記載になっています。

- 動作の日付
- 動作した時刻
- 動作内容

メモ：

- 警告や異常の動作ログは、動作内容の前に「！」が付き、橙字または赤字で表示されます。

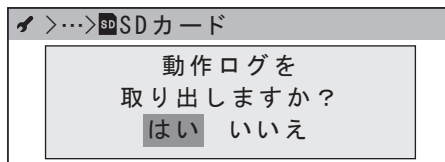
ログデータを保存する

動作ログのログファイルを、SD カードや USB メモリーに保存できます。

あらかじめデータを保存する SD カードか USB メモリーを用意し、本機に挿入しておきます。

1. 【メニュー】を押す
2. 「メンテナンス」を選択し、【決定】を押す
3. 「ログ」を選択し、【決定】を押す
4. 「動作ログ」を選択し、【決定】を押す
5. 「ログの取り出し」を選択し、【決定】を押す
6. 保存先を「SD カード」または「USB メモリー」から選択し、【決定】を押す

確認画面が表示されます。



7. 「はい」を選択し、【決定】を押す

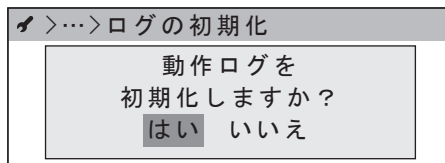
選択したデータが保存先のメディアに保存されます。保存の完了後、「OK」を選択するとメディアを取り出すか選択できます。

動作ログを削除する

動作ログのログファイルをすべて削除することができます。

1. 【メニュー】を押す
2. 「メンテナンス」を選択し、【決定】を押す
3. 「ログ」を選択し、【決定】を押す
4. 「動作ログ」を選択し、【決定】を押す
5. 「ログの初期化」を選択し、【決定】を押す

確認画面が表示されます。



6. 「はい」を選択し、【決定】を押す

すべてのログが削除されます。

エラー表示について

動作ログに表示される異常 / 警告表示の種類は以下のとおりです。

	表示内容	原因
異常表示	時計の電池切れ	内蔵時計の電池が切れている。
	ハードウェア異常	ハードウェアに異常が発生した。
	設定異常 [音源リスト]	設定データを読み込めなかった。
	設定異常 [プレイリスト]	
	設定異常 [日課パターン]	
	設定異常 [週間スケジュール]	
	設定異常 [年間スケジュール]	
	設定異常 [機能 / 制御入力]	
設定異常 [システム設定]		
警告表示	取り外しせずに SD カード 抜去	SD カードを使用中に取り外した。
	取り外しせずに USB メモリー 抜去	USB メモリーを使用中に取り外した。
	時刻補正失敗 [親時計]	4 回連続で時刻補正に失敗した。
	時刻補正失敗 [制御入力]	
	時刻補正失敗 [NTP]	
	自動バックアップ失敗	SD カードは挿入してあるが、バックアップファイルの書き込みに失敗した。
	録音開始 [yyyyymmdd_xxxxxx] 失敗	SD カードに録音できなかった。
	[設定データ] 取り込み失敗	設定データの取り込みに失敗した。
	[設定データ] 取り出し失敗	設定データの取り出しに失敗した。
	[追加音源] 取り込み失敗	追加音源ファイルの取り込みに失敗した。
	[追加音源] 取り出し失敗	追加音源ファイル設定データの取り出しに失敗した。
	バックアップ失敗	バックアップファイルの保存に失敗した。
	復元失敗	バックアップからの復元に失敗した。
	[動作ログ] 取り出し失敗	動作ログファイルの取り出しに失敗した。
	[システムログ] 取り出し失敗	システムログファイルの取り出しに失敗した。
	ソフトウェア更新失敗	ソフトウェアのアップデートに失敗した。
	日課パターン [99] 失敗	スケジュールの参照する日課パターンがなかった。
	ステップ [999] 失敗 <HH:mm:ss>	ステップの参照する音源ファイルがなかった。
	ステップ [999] 重複 <HH:mm:ss>	ステップの開始時刻が重複していた。
	出荷音源 [CHM999] 再生失敗 {理由}	音源の再生に失敗した。
	追加音源 [ANC999] 再生失敗 {理由}	
	SD 音源 [BGM999] 再生失敗 {理由}	
	プレイリスト [BGM999] 再生失敗	参照するプレイリストがなく、プレイリストの再生に失敗した。
	プレイリスト [C/A999] 再生失敗	
	接続失敗 [EXT1]	拡張ユニット 1 との接続に失敗した。
	接続失敗 [EXT2]	拡張ユニット 2 との接続に失敗した。
	通信 LOGIN 失敗	PC からの接続に失敗した。
	通信異常	PC との接続が途切れた。

まず確認してください

ご使用中に「故障かな?」と思ったら下表または「エラー表示について」(P.45)を参考に確認してください。それでも治らない場合は、販売店または最寄りの「ご相談窓口」にご連絡ください。

症状	確認	処置	参照ページ
いつものチャイム(楽曲)が鳴らなくなった	本体は運用中になっていますか。	待機中になっていると、スケジュールが実行されません。【運用開始/停止】を押して運用中状態にしてください。	P.34
	年間スケジュールを設定していませんか。	年間スケジュールを設定していると、通常の週間スケジュールよりも優先して実行されます。	P.23
	前面の【機能1】～【機能8】が間違っ てONになっていませんか。	表示灯が点灯している【機能】を押して、作動している機能を停止してください。	P.35
スケジュールが実行できない	スケジュールが設定されていますか。	スケジュールにパターンを設定してください。	P.20
機能ボタンが実行出来ない	「優先方式」が「先優先」になっていませんか。	動作中の機能を停止してから再度実行してください。	P.31
	優先放送が再生されていませんか。	「優先」が「ON」に設定された優先放送は、他の放送に関係なく最優先で放送されます。	P.28
わりこみ再生が利用できない	優先放送が再生されていませんか。	「優先」が「ON」に設定された優先放送は、他の放送に関係なく最優先で放送されます。	P.28
外部入力からの音声が小さい	「優先音源」の設定が「本体音源」になっていませんか。	「外部入力」に設定を変更してください。	設置編 P.31
	「外部入力レベル」が小さくありませんか。	「外部入力レベル」を調整してください。	設置編 P.30
再生した音源の鳴り始めが切れる	「起動ウェイト時間」が小さくありませんか。	「起動ウェイト時間」を調整してください。	設置編 P.28
音源再生が途中で止まる	音源の終了より前に終了時刻を設定していませんか。	ステップ編集で終了時刻を変更してください。	P.22
電源が入らない	電源コードまたはDC24V入力端子の接続が抜けていませんか。	電源コードまたはDC24V入力端子を接続してください。	設置編 P.19
ボタンを押しても反応がない	ボタンロック状態ではありませんか	ボタンのロックを解除してください。	P.37
設定メニューが表示されない	運用中になっていませんか。	【運用開始/停止】を押してスケジュールを停止し、待機中にしてください。	P.34
画面表示が見にくい	「点灯方法」が「操作・再生連動」になっていませんか。	「常時点灯」に設定してください。	P.5
		「画面の明るさ」を調整してください。	P.5
時刻補正が働かない	「時刻補正方式」を正しく設定していませんか。	「時刻補正方式」を正しく設定してください。	設置編 P.25
	補正信号は検出できていますか。	「補正信号確認」で信号を検出できているかご確認ください。	設置編 P.25 設置編 P.26
	親時計/制御入力による時刻補正では、時刻補正のタイミング(2:00、7:00、12:00、19:00)で30秒以上のずれがある場合は、正しく補正されません。	手動で時刻を合わせた後、再度時刻補正のタイミングで補正が働かかご確認ください。	P.43
制御入力での時刻補正ができない	制御入力の機能が「時刻補正」に設定されていますか	「制御入力」設定で、端子の機能を確認してください。	P.29
録音または設定中にメッセージが表示される	表示されている内容を確認してください。		—
電源を切ったあと、時刻表示がずれてしまう	内蔵の電池が寿命です。	販売店または最寄りの「ご相談窓口」にご連絡ください。	—
SDカードに保存した音源が鳴らない	SDカードがしっかり差し込まれていますか。	SDカードの抜き差しをしてください。	設置編 P.20
ログや追加音源の取り出しが失敗する	SDカード/USBメモリの空き容量が少なくなっていますか。	十分に空き容量のあるSDカード/USBメモリーを使用してください。	—

よくあるご質問と解決方法

Q: 正しく時刻補正されているか確認したい。

A: 設定メニューの「補正信号確認」で補正信号を正しく検出できているかを確認できます。「補正信号確認」は確認のみで、実際の時刻補正は正時(2:00、7:00、12:00、19:00/ 毎日4回)にのみ行います。

Q: 機能ボタンは、スケジュール待機中に動作しますか？

A: 機能ボタン、制御入力は運用中のみ動作します。

Q: 特定の日だけ特別なパターンで放送したい。

A: あらかじめ「日課パターン」で特別なパターンを作成しておきます。日付が判っている場合は、年間スケジュールでその日に特別なパターンを設定します。そうでない場合は、機能ボタンが制御入力の「日課パターン開始」に特別なパターンを設定し、動作させたい日に設定した機能ボタンまたは制御入力で機能を実行します。

Q: 週間スケジュール、年間スケジュール、機能ボタン（制御入力）について、優先動作の順番はどうなりますか？

A: パターンの優先順位は、週間スケジュール<年間スケジュール<機能ボタン/制御入力の日課パターンとなっています。機能ボタンや制御入力が重なった場合は、「後優先方式」で動作します。

Q: 週間スケジュールを複数パターン使用したい。

A: 週間スケジュールは1つしか設定できません。年間スケジュールや機能ボタンなどでパターンを変更してください。

Q: 警報などの緊急放送をスケジュールに割り込んで放送したい。

A: 「機能ボタン」や「制御入力」の「音源再生開始」で放送したい音源ファイルを選択し、「優先」を「ON」に設定してください。機能を実行すると、他の放送に対し最優先で放送されます。

Q: 個別にチャイム音量を調整したい。

A: 日課パターンのステップ編集や機能設定で、「音量」の設定を変更します。

Q: 放送時刻を少しだけ変更したい。

A: 日課パターンのステップ編集で、開始時刻/終了時刻を変更します。PA-DA700 設定ソフトウェアの日課パターン編集では、複数のステップの時刻をまとめて変更できます。詳しくはPA-DA700 設定ソフトウェア取扱説明書をご覧ください。

Q: 放送せずに音源の内容を確認したい

A: 音源ファイルを選択して「試聴」を選択すると、音声出力端子に出力せずに前面のヘッドホン端子のみで音源を再生できます。

Q: 複数の音源を連続して放送したい。

A: 起動ウェイト時間が必要なため、複数の音源を起動ウェイト時間に設定した時間より短い間隔で再生する事はできません。その場合は、音源ファイルを組み合わせたプレイリストを作成してください。

Q: オリジナルの音源を追加したい。

A: 本機前面の録音入力端子に音源を接続し、録音機能でSDカードに録音してください。または、PA-DA700 設定ソフトウェアの音源リスト画面で、音源ファイルを追加登録します。音源ファイルの登録についてはPA-DA700 設定ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

Q: 追加できる音源の容量が知りたい。

A: 録音操作画面の「残時間」表示で、SDカードに録音できる音源の時間が確認できます。また、PA-DA700 設定ソフトウェアの音源リスト画面では、内蔵メモリとSDカードの容量を確認できます。

Q: 使用できるSDカードの容量を知りたい。

A: 本機は、最大32GのSD/SDHCカードに対応していません。

Q: スケジュールの内容をプリントしたい。

A: PA-DA700 設定ソフトウェアで、各スケジュールやプレイリストの設定などを印刷できます。

Q: 既設の機器で使用している音源やスケジュールをコピーしたい。

A: PA-ZS600T(B) で作成したプロジェクトや、PA-ZS600T で登録した音源ファイルは、PA-DA700 設定ソフトウェアにインポートして利用可能です。インポートについてはPA-DA700 設定ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

付録

チャイム音・楽曲一覧

PA-DA700 に内蔵のプリセット音源は以下になります。

■ チャイム

分類	名称	時間	
1	チャイム	ウェストミンスターの鐘	00分29秒
2		ウェストミンスターの鐘(短)	00分18秒
3		よるこび	00分23秒
4		あおぞら	00分22秒
5		ディンドン	00分17秒
6		ウェストミンスターの鐘 電子音	00分30秒
7		よるこび 電子音	00分22秒
8		あおぞら 電子音	00分21秒
9		ディンドン 電子音	00分17秒
10	楽器	ウェストミンスターの鐘 チューブラベル	00分30秒
11		ウェストミンスターの鐘(短) チューブラベル	00分18秒
12		よるこび チューブラベル	00分21秒
13		あおぞら チューブラベル	00分21秒
14		ディンドン チューブラベル	00分17秒
15		チャイム 1音 チューブラベル	00分11秒
16		チャイム 上り 3音 チューブラベル	00分17秒
17		チャイム 下り 3音 チューブラベル	00分17秒
18		アマリリス ビブラフォン	00分26秒
19		メロディ ビブラフォン	00分21秒
20		よるこび グロッケン	00分19秒
21		あおぞら グロッケン	00分19秒
22	朝向け曲	「パールギユント」より「朝」	01分02秒
23		夜が明けた	01分02秒
24		「四季」より「春」	01分02秒
25	チャイム	打棒式ウェストミンスターチャイム	00分27秒
26	昼向け曲	線路は続くよどこまでも	01分03秒
27		おもちゃの兵隊	01分00秒
28	夕向け曲	夕やけこやけ	01分04秒
29		遠き山に日は落ちて	01分29秒
30		峠の我が家	01分03秒
31	夜向け曲	アニーローリー	01分01秒
32		ほたるの光	03分02秒
33	体操	ラジオ体操第一	03分13秒
34	サイン音	ティンクル 1	00分03秒
35		ティンクル 2	00分05秒
36		ティンクル 3	00分10秒
37		ティンクル 4	00分04秒
38		フラワーゴブリン 1	00分03秒
39		フラワーゴブリン 2	00分04秒
40		フラワーゴブリン 3	00分15秒
41		ベルズ オーバーチェア	00分20秒
42		ベルズ シンパシー	00分18秒
43		スカイ イン ザ ピース	00分17秒
44		リリィ	00分13秒
45		リバー	00分13秒
46		グッドラック	00分12秒
47		ブザー	00分17秒
48		サイレン	00分12秒
49		4音チャイム上り(速い)	00分02秒
50		4音チャイム下り(速い)	00分02秒

51		4音チャイム上り(遅い)	00分05秒
52		4音チャイム下り(遅い)	00分05秒
53		サイン音(2音)	00分01秒
54		サイン音(1音)	00分01秒

■ アナウンス

	名称	音声	内容	時間
1	緊急地震速報 (NHK)	男性	シグナル音 (NHK) 「地震です。落ち着いて身を守ってください。地震です。落ち着いて身を守ってください。」 《JEITA ガイドライン準拠》※ 1 ※ 2	00分 11秒
2	緊急地震速報 (REIC)	男性	シグナル音 (REIC) 「地震です。落ち着いて身を守ってください。地震です。落ち着いて身を守ってください。」 《JEITA ガイドライン準拠》※ 3	00分 09秒
3	緊急地震訓練 (NHK)	男性	「訓練、訓練。」 ～シグナル音 (NHK) × 4回繰り返し～ 「これは緊急地震速報の訓練です。」 (上記を3回繰り返し放送します。) ※ 1	00分 35秒
4	緊急地震訓練 (REIC)	男性	「訓練、訓練。」 ～シグナル音 (REIC) × 1回～ 「これは緊急地震速報の訓練です。」 (上記を3回繰り返し放送します。) ※ 3	00分 20秒
5	緊急地震速報 (誤報)	女性	「先ほどの緊急地震速報は誤りでした。ご安心ください。先ほどの緊急地震速報は誤りでした。ご安心ください。」	00分 11秒
6	防犯	女性	シグナル音 (日本防犯設備協会) 「ただいま、緊急事態が発生しました。スタッフの指示に従って、落ち着いて避難してください。」	00分 10秒
7	防犯 (学校向け)	女性	シグナル音 (日本防犯設備協会) 「ただいま、緊急事態が発生しました。先生の指示に従って、落ち着いて避難してください。」	00分 10秒
8	放課後 (学校向け)	女性	「下校の時間になりました。車や自転車に気をつけて帰りましょう。」	00分 05秒
9	店舗の開館	女性	「本日はご来店いただきまことにありがとうございます。ただいま、開店いたしました。いらっしゃいませ。」	00分 08秒
10	店舗の閉館	女性	「ご来店のお客様にお知らせいたします。本日の営業時間は、まもなく終了いたします。またのご来店をお待ちしております。」	00分 10秒
11	省エネルギー	女性	「不要な照明や、使用していない機器の電源をオフにして、省エネルギーにご協力をお願いいたします。」	00分 07秒
12	火災防止	女性	「火災防止のお願いです。たばこの火の始末、電気の切り忘れ、ガスの元栓など、火の元の確認をお願いいたします。」	00分 09秒
13	面会時間終了	女性	「本日の面会時間はまもなく終了いたします。ご面会中の方はお早めにお帰りの準備をお願いいたします。」	00分 09秒
14	閉館	女性	「間もなく閉館いたします。本日のご来場、まことにありがとうございました。」	00分 06秒
15	ノー残業デー	女性	「本日はノー残業デーです。優先順位をつけて業務を行い、定時に退社しましょう。」	00分 07秒
16	熱中症注意	女性	「気象庁から高温注意情報が発表されました。熱中症に注意してください。こまめな水分補給により、体調の管理に努めてください。」	00分 11秒
17	非火災メッセージ	女性	「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」	00分 07秒
18	避難訓練 (発報放送)	女性	「ただいまから避難訓練を行います。」 第1シグナル (1回) 「ただいま、火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので次の放送にご注意ください。」 (上記を2回繰り返し放送します。)	00分 31秒
19	避難訓練 (火災放送)	男性	「これは訓練放送です。」 第1シグナル (1回) 「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。これは訓練放送です。」 第1シグナル (1回) 「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」 第2シグナル (3回) (上記を2回繰り返し放送します。)	01分 18秒

※ 1 緊急地震速報のNHKチャイム音はNHKの著作物です。

※ 2 「緊急地震速報 (警報)」 (最大震度5弱以上と予想した場合に、予想した震度が4以上の地域に対して気象庁が発表する。) に整合している場合の使用に限定されます。

※ 3 REICサイン音はリアルタイム地震・防災情報利用協議会 (REIC) の著作物です。

用語解説

英数字

2元放送

2つの別々の放送を同時に出力します。日課パターンを2元放送に設定すると、「放送1」と「放送2」で別々の放送のスケジュールを設定、実行できます。

BGM

音源ファイルの種別の1つで、チャイムやアナウンスと同時に再生できます。

チャイムやアナウンスと重なった場合は、BGMは音量を下げて再生されます。

NTPサーバー

NTP (Network Time Protocol) サーバーは時報に相当する情報を配信しているサーバーです。時刻を同期させると、本機の内部時計の時刻補正が行えます。

あ

アナウンス

音源ファイルの種別の1つで、BGMと同時に再生できます。他のチャイム、アナウンスとは同時に再生できません。

親時計

一定間隔で制御信号を送り、子時計を動かす時計です。本機は30秒式の親時計に対応しており、親時計を接続する事で本機の内部時計の時刻補正が行えます。

音源ファイル

本機で再生できる音声のファイルです。本機内蔵のプリセット音源のほか、本機で録音した音源や、設定ソフトウェアで取り込んだ音源ファイルを使用できます。

さ

時刻補正

外部の補正機器からの信号で本機の内部時計の時刻を補正する機能です。本機は親時計、制御入力、NTPの時刻補正機能に対応しています。

週間スケジュール

1週間の動作スケジュールです。曜日に対して日課パターンを割り当てて、毎週同じ曜日に設定した日課パターンを実行します。

終了連動

音源の再生終了時に連動して制御出力端子に動作の信号を出力します。

アナウンス後に照明を消すなどの動作を行う際に使用します。

スケジュール

音源再生や制御出力制御を行う動作を設定したものです。日付ごとの設定をした年間スケジュールと、曜日ごとの設定をした週間スケジュールがあります。

ステップ

音源再生や制御出力制御を行う動作単位です。

た

チャイム

音源ファイルの種別の1つで、BGMと同時に再生できます。他のアナウンス、チャイムとは同時に再生できません。

な

年間スケジュール

「〇月〇日」といった特定の日付に対して日課パターンを割り当てたスケジュールです。設定された日は、週間スケジュールではなく年間スケジュールで設定された日課パターンを実行します。

は

パターン (日課パターン)

1日の動作スケジュールです。ステップを登録して、1日に行う動作を設定します。

プリセット音源

本機にあらかじめ登録されている音源ファイルです。本機にはあらかじめチャイムが54種、アナウンスが19種登録されています。

プレイリスト

再生させる音源ファイルを登録したリスト (一覧) です。音源ファイルを登録し、最大100までの音源ファイルを組み合わせる再生することができます。

チャイムまたはアナウンスを組み合わせた「チャイム/アナウンス プレイリスト」と、BGMを組み合わせた「BGM プレイリスト」を登録できます。

や

ユーザー追加音源

お客様が登録した音源ファイルです。音源ファイルを新しく本機に登録するには、付属の「PA-DA700 設定ソフトウェア」を使用するか、本機で音声を録音します。

優先音源

本体の音源ファイル再生と、外部入力のうち優先して出力する音源です。音声の再生が重なった場合、優先音源でない側の音量を自動的に小さくします。

優先方式

機能ボタンや制御入力の動作が重なった場合に、どちらを優先して行うかの設定です。

ら

録音音源

本機の録音端子からの音声を、SDカードに録音した音源ファイルです。設定でチャイム/アナウンス/BGMのいずれかの種別に変更できます。

わ

わりこみ再生

運用状態のまま、割り込んで音源ファイルの再生を行えます。優先放送の再生中はわりこみ再生は行えません。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

サービス窓口

- 以下の URL をご覧ください。
<https://jkpi.jvckenwood.com/support/repair/>
- 業務用製品修理窓口 (045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げの販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名	: プログラムチャイムユニット
型名	: PA-DA700
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品交換にともなう部品代、および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。部品交換の計画、費用などのご相談はお買い上げ販売店、または弊社サービス窓口にご相談ください。

部品名	備考
バッテリー (品番: QAB0049-001)	約 5 年のご使用を目安に交換してください。 機器内部に取り付けられているため、交換は弊社サービスによる交換修理対応になります。
AC アダプター (品番: WOH-0171-00 もしくは WOH-0176-00)	約 5 年のご使用を目安に交換してください。

※ 交換時期は 25℃環境で使用したときのめやすであり、使用環境により異なります。

法的情報

本機のソフトウェアに関する法的情報などは、「メンテナンス」メニューの「法的情報」から確認できます。

1. 【メニュー】を押す
 2. 「メンテナンス」を選択し、【決定】を押す
 3. 「法的情報」を選択し、【決定】を押す
 4. 確認したい項目を選択し、【決定】を押す
- 選択した法的情報が表示されます。

「法的情報」で確認できるのは、以下のとおりです。
ソフトウェアに関する

- 重要なお知らせ
- 使用許諾書
- 使用ライブラリ

■ 週間スケジュールチャート

<コピーしてお使いください>

曜日	パターン番号	パターン名	備考
月曜日 (Mon)			
火曜日 (Tue)			
水曜日 (Wed)			
木曜日 (Thu)			
金曜日 (Fri)			
土曜日 (Sat)			
日曜日 (Sun)			

■ 年間スケジュールチャート

年

日にち	パターン番号	パターン名	備考
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

仕様

(0 dBs=0.775 Vrms)

■ 基本仕様

電源	: DC24 V、 付属 AC アダプター (AC100V 50Hz/60Hz) または 5.08 mm ピッチ 3P コネクター端子台
消費電流	: 350 mA
使用温度範囲	: 0 °C ~ 40 °C
質量	: 約 2.6 kg
寸法	: 420 mm × 44 mm × 280 mm (突起部含まず) (幅×高さ×奥行き)
仕上げ	: フロントパネル: 黒色 ABS 樹脂 トップカバー: 黒色半艶焼付塗装 (マンセル N1 近似)
関連商品	: ラックマウント金具 PS-RU11 (EIA 1U)

■ 制御部

親時計入力	: 30 秒式親時計 ± 24 V、 3.5 mm ピッチ 3P コネクター端子台
通信ポート	: LAN 端子 (RJ45)、 100Base-TX/1000Base-T
制御入力 (× 16) *	: 無電圧メーク接点およびオープンコレクター 出力に適合、 3.5 mm ピッチ 10P コネクター端子台 × 2 ※ PA-DA700 を 2 台追加することにより、 最大 48 端子まで拡張
制御出力 (× 8) *	: リレー接点 (DC 30 V、1 A) ねじ式端子 ※ PA-DA700 を 2 台追加することにより、 最大 24 端子まで拡張
アンプ電源	: リレー接点 (DC 30 V、1 A)
制御出力	: ねじ式端子

■ 音声入力部

外部入力 端子	: 3.5 mm ピッチ 3P コネクター端子台
入力レベル / インピーダンス	: -20 dBs/10 kΩ 以上、不平衡
録音入力 端子	: φ 3.5 ステレオミニジャック モノラル LR ミックス
入力レベル / インピーダンス	: -10 dBs/10 kΩ 以上、不平衡

■ 音声出力部

音声出力 端子 (× 2)	: 3.5 mm ピッチ 3P コネクター端子台
出力レベル / インピーダンス	: 基準 -10 dBs (最大出力 +8.2 dBs) / 300 Ω、不平衡
ヘッドホン出力 端子	: φ 3.5 ステレオミニジャック
出力レベル	: ステレオ、32 Ω時: 最大 3mW+3mW (適合負荷 16 Ω ~ 32 Ω)

■ 外部記録部

SD カードスロット	: 対応 SD カード: 別売、SD、SDHC (最大 32GB) 追加音源の保存、設定 / スケジュールデー タの更新およびバックアップ
USB 端子	: 別売、USB2.0 Type-A、レセプタクル (USB メモリーを接続) 音源及び設定データの読み書き

■ タイマー部

時計精度	: 月差 ± 5 秒 (+25 °C)
停電補償	: 時計; 30 日以上 (0 °C ~ +40 °C)
時刻表示	: 西暦年、月、日、曜日、時、分、秒
ステップ数	: 999 ステップ (1 パターンあたり)
パターン数	: 99 パターン (1 パターンあたり最大 999 ステップ)
スケジュール	: 週間 / 年間 (2 年間) スケジュール設定可能
時刻補正	: NTP、親時計入力、接点入力

■ チャイム / アナウンス / BGM 部

フォーマット	: 48 kHz 16 bit WAV ステレオ / モノラル
チャイムファイ ル登録数	: 工場出荷時搭載音源数: 73 (内蔵メモリ)*、 最大 999 (SD カード使用時) ※ P.48 の「チャイム音・楽曲一覧」を参照
BGM ファイル 登録数	: 最大 999 (SD カード使用時)
プレイリスト 登録数	: チャイム / アナウンス: 最大 999 BGM: 最大 999

■ 録音部

フォーマット	: 48 kHz 16 bit WAV モノラル
録音ファイル登録数	: 最大 999

■ 音源ファイル

本体内蔵メモリ	: 最大約 90 分追加可能 (空き容量約 500 MB)
SD カード	: 別売、SD/SDHC に対応 最大約 80 時間 (32 GB 使用時) 最大 3 時間 / 1 ファイル

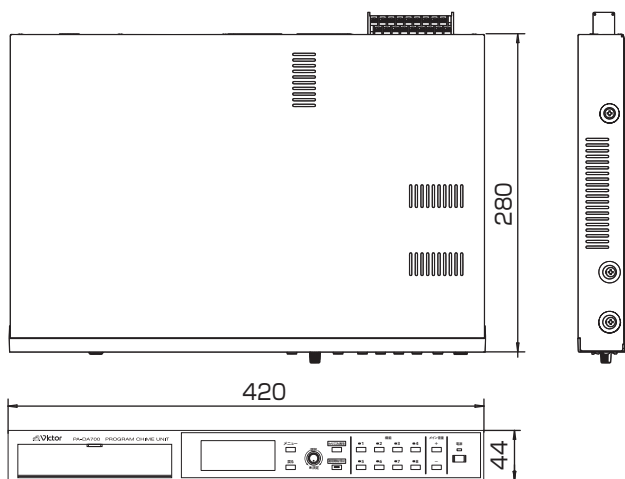
■ 操作部

表示	: ディスプレイ; 2.55 インチ、カラー液晶 電源表示; 緑色 LED × 1 機能ボタン表示; 緑色 LED × 8
操作スイッチ	: 【メニュー】 ボタン、 【選択】 ダイヤル / 【決定】 ボタン 【戻る】 ボタン 【運用開始 / 停止】 ボタン 【機能】 1 ~ 8 ボタン、 【わりこみ再生】 ボタン 【メイン音量】 ボタン + / - 【電源】 ボタン ヘッドホンボリュームつまみ

■ 付属品・添付物

保証書× 1
取扱説明書（本書）× 1
取扱説明書（設置編）× 1
3P コネクター端子台 (3.5 mm ピッチ) × 4
3P コネクター端子台 (5.08 mm ピッチ) × 1
10P コネクター端子台 (3.5 mm ピッチ) × 2
フット× 4
AC アダプター× 1
電源コード× 1
ワイヤークランプ× 1

■ 外形寸法図（単位：mm）



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

本機は『高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品』です。

索引

英数字

2つの別々の放送を行う	設置編 15、14、20
2元放送	設置編 15、14、20
BGM	17
PCで本機を操作する	40
SDカード	設置編 20
USBメモリー	設置編 20

あ

アナウンス	17
オートスタート	設置編 27
親時計	設置編 25
音源ファイル	17
音源ファイルを聴く	18
音源ファイルを追加する	17
音声入力を使う	設置編 16、設置編 30

か

外部機器の電源の設定をする	設置編 28
画面の明るさを調整する	設置編 26、4
画面の見かた	34
外部機器を接続する	設置編 14
機器の接続を確認する	設置編 21
機能ボタンの設定をする	27
機能ボタンを使う	35

さ

時刻を設定する	設置編 24、43
時刻補正方式	設置編 24
時刻補正（親時計）	設置編 25
時刻補正（制御入力）	設置編 25
システムの構成例	設置編 14
自動バックアップ	設置編 32
手動で時刻を設定する	43
終了連動	28、55
週間スケジュール	23
週間スケジュールを作成する	23
仕様	55
スケジュール設定	20
スケジュールを実行する	34
ステップ	14、20
制御入力を設定する	29
制御入力を使う	35
設置する	設置編 13
設定ソフトウェア	40
設定の手順	設置編 12、13
設定をバックアップする	設置編 32

た

チャイム	17
データを取り出す / 取り込む	41
取扱説明書の構成	7

な

日課パターン	14、20
日課パターンを作成する	20
ネットワークで時刻を補正する	設置編 24
年間スケジュール	15、23
年間スケジュールを作成する	23

は

パターン（日課パターン）	14、20
パターン名称	22
パターンを修正する	22
バックアップ	設置編 32
バックアップから復元する	設置編 32
複数のPA-DA700を接続する	設置編 18、設置編 29
プリセット音源	17
プレイリスト	18
プレイリストを作成する	18

ま

名称を変更する	17、19、22
メモリーカード	設置編 20、38、41

や

ユーザー追加音源	17
優先放送	28、55、47
優先方式	29、31

ら

録音する	38
録音音源	17、38
リハーサルをする	33

わ

わりこみ再生	36
--------	----

Memo

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>